

第五十九回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第九回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和六年二月二十四日(火曜日)午後一時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 長野 綱良君

理事 關矢 孫一君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

佐竹 庄七君 高橋壽太郎君

三好榮次郎君 村上 國吉君

宮澤 胤勇君 高橋元四郎君

松田 正一君 田中 養達君

篠田 有德君 三田村甚三郎君

出井 兵吉君 片野 重脩君

東 武君 松山常次郎君

平井信四郎君 清家吉次郎君

石井 次郎君

同月二十三日委員山内亮君及木村小左衛門君辭任ニ付其ノ補闕トシテ宮澤胤勇君及北原阿智之助君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十四日委員田邊熊一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ松山常次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 町田 忠治君
拓務大臣 松田 源治君
出席政府委員左ノ如シ

農林參事 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

拓務政務次官 小坂 順造君

拓務省殖産局長 植田 俊吉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林書記官 荷見 安君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

○西村委員長 是ヨリ開會致シマス

○殖田政府委員 昨日東郷サンノ御質問ニナリマシタ朝鮮ニ於ケル粟ノ輸入額ヲ電報デ取調ベマシタ所、六年ノ一月分ガ分リマシタカラ御報告申上ゲマス、六年一月分ノ粟ノ輸入量ガ五萬一千六百八十一石ト云フ報告ニ接シマシタ、之ヲ昨昭和五年ノ十三萬一千石、昭和四年ノ十三萬四千石、昭和三年ノ十二萬七千石ト申シマスル一月中ノ輸入額ニ較ベマスレバ、的半額以下ニ減ッテ居ルト思ヒマス、ソレカラ今一ツハ朝鮮ニ於ケル水利組合ノ狀況ヲ御尋デア

リマシタガ、水利組合數ガ昭和四年末ニ於キマシテ百九個、其水利組合ニ屬シマス面積ガ十二萬三千三百三十一町步、其收穫量ハ、穀ニ致シマシテ三百八十二萬六千六百九十三石、斯ウ云フ數字ガ出テ居リマス、尤モ此組合數ナリ或ハ面積ナリハ、組合ノ名ガアリマシテモ實際仕事ヲチットモ致サナカタモノハ入ッテ居リマセチャウデアリマスカラ、形式上ノ組合數ナリ、面積ナリハ、今少シ殖エルカト存ジマス

○東郷委員 今政府委員カラ昨日私ガ御尋シマシタコトニ御答辯ガアリマシタガ、其中デ米ガ、内地ニ移入サレルノガドノ位アルカ、ソレハ御分リニナリマセヌデスカ

○殖田政府委員 ソレハ調べタイト思ヒマシタガ、數字ガゴザイマセヌノデ、急ニ分リ兼ネルヤウニ存ジマスカラ、是デ御承知願ヒタイト思ヒマス

○東郷委員 質問ニ入リマス、前ニ材料ノ御提供ヲ御願シマス、其中ノ第一ガ率勢米價算出ノ公式トデモ言ヒマスカ、配付ヲ受ケタ印刷物ニハ、サウ云フ公式ミタイナモノガナイノデス、詰リ計算ノ經過ノ公式デス、ソレカラ其次ガ日本銀行ノ物價指數ハ分ル譯デス

ガ、其指數ノ出タ基礎物價ノ累年表、ソレカラモウ一ツハ極ク最近ニ於ケル農業倉庫ノ内容ノ分ル表ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス、ソレダケノコトヲ申上ゲテ置キマシテ、昨日ニ引續イテ殖民

地ノ米ノ問題ヲモウ少シ御伺ヒ致シタイ、臺灣ノ米ハ現在ニ於キマシテハ、内地市場ヲソレ程マデ壓迫ハシテ居ナイヤウニ思ヒマス、是ハ米穀調查會等ニ於テモ、大體多數委員諸君ノ御意見モサウデアッタト思ヒマスガ、此點ハ今回臺灣モ相當ナ豐作デアッタ譯デスケレドモ、大シテ今日ト雖モ内地市場ヲ壓迫スル實情ハゴザイマセヌ、是ハ先ヅ農林大臣ニ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス

○町田國務大臣 御承知ノ通り蓬萊米ヲ獎勵シマシテ、相當ニ内地ニ入ッテ居ルノデアリマス、今日ノ所デハ東郷君ノ御話ノ通り、是ガ爲ニ内地ノ米價ヲ著シク壓迫スルト云フ考ハ今日ノ所デハ持ッテ居リマセヌ

○東郷委員 只今農林大臣カラ蓬萊米ガ可ナリ入ッテ來ルト云フ御話デアリマシタガ、申上ゲマスルマデモナク臺灣ノ產米ハ、在來ノ米ト内地種タル蓬萊米トアル譯デス、此蓬萊米ノ問題ハ、

臺灣自體ノ農業經營カラ言ッテモ重要ナル問題デアリマス、ソレト同時ニ内地ニ取リマシテモ、内地ニ於ケル米ノ需給關係カラ言ッテ、極メテ重大ナ關係ヲ持ッテ居ルト思ヒマス、現在ニ於テハ只今農林大臣ノ御説ノヤウニ、大シテ内地ノ市場ニ壓迫ヲ與ヘルダケノ現象ガナイノデスガ、併シ將來蓬萊米ガ臺灣ニ於テ盛ニ生産サレルト云フコトデアルト、朝鮮米ト同ジヤウニ内地ノ市場ニ影響スルヤウナ時期ガ來ルノデヤナイカト想ハレル、ソコデ私拓務大臣ニ御伺ヒ致シマスガ、蓬萊米ヲ、將來ドノ程度マデニ發展セシムルト云フ御計畫ナリ、目安ガ付イテ居リマセウカ、若シアルナラバソレヲ承リタイト思ヒマス

○松田國務大臣 臺灣ノ米ガ内地ノ市場ヲ壓迫シナイト云フコトニ付テハ、農林大臣ガ今仰セラレタ通りデアリマス、ソレハ米穀調査委員會ニ於テモ問題ニナッテ居ラナカタヤウニ記憶致シマスガ、將來蓬萊米等ガドウ云フ發展ヲスルカト云フコトニ付テハ、今ノ所デハサウ澤山收穫ガアルト云フコトハ豫定シテ居ラヌノデアリマス

○東郷委員 昨年ノ收穫ハ百八十萬石位アツタヤウデスガ、其中ノ大部分百萬石餘ハ、昨年入ッテ居リマス、是ハ拓務當局トシテハ將來ドノ程度マデ行クダ

ラウトカ、或ハドノ程度マデ行カセルノダト言ッタヤウナ御見當ガナイトハ思ヘナイノデスガ、大體此產米計畫ヲスルノニハ、少クトモ臺灣總督府トシテハドノ程度マデ行カウトカ、是レ以上行ッテハ色々ノ點ニ於テ差支ヘルカラ、此程度デ止メヨウトカ云フコトニ付テ、何カ目安ガアッテ獎勵ヲシテ居ルデハナイカト考マスガ、ソレガ御分リニナリマセヌカ

○松田國務大臣 其點ノ確タルコトガ立ッテ居リマセヌ、是ハ内地ノコトモ考慮シ、又臺灣ノ食糧ノコトモ考慮シナケレバナラヌノデアリマシテ、將來幾ラニ殖エルト云フコトニ付テハ、今確タル計畫ハ立ッテ居ナイト御答スルヨリ外仕方ガアリマセヌ

○東郷委員 蓬萊米ノ將來ハ、未知數ダト思ッテ居ルト云フヨリ仕様ガアリマセヌ、ソコデ臺灣ノ米ガ内地ノ市場ニ今日大ナル影響ガナイト云フコトデアレバ、是レ以上臺灣ノ米ノ問題ヲ色色御伺スル必要モナイト思ヒマスカラ、此程度ニ止メマス、私ハ昨日來臺灣ニ於ケル產米ノ問題、而シテソレノ内地ニ入ッテ來ル問題等ニ付テ色々御伺致シタノデスガ、是ハドウシテモ内地ニ於ケル米價ノ問題ヲ解決スルニハ、植民地ノ米ノ問題ヲ同時ニ取入レテ考ヘナケレバナラヌ實情ニ今日ハ置カレ

テ居ル、朝鮮及ビ臺灣ノ米ノ問題ヲ考慮ニ加ヘナケレバ、内地ノ米ノ問題ハ解決出來ナイノデスカラ、色々御伺致シタノデス、ソレデハ現在及ビ將來ノ米穀政策ヲハッキリサス上ニ於テ、ドウシテモ確メテ置カナケレバナラヌト思ヒマスカラ、專ラ拓務大臣ニ御尋致シマスガ、内地ト殖民地トノ産業ノ衝突トデモ申シマスカ、色々ノ利害ガ一致シナイデ、内地殖民地間ノ産業ノ上ニ於ケル衝突ガアルノデス、是ハ世界ノ植民史カラ見マシテモ、吾々ニ幾多ノ事例ヲ與ヘテ居リマス、例ヘバ砂糖ニ致シマシテモ、植民地ノ甘蔗糖ガ非常ノ勢ヲ以テ發展シタ爲ニ、本國ノ甘蔗糖ガ非常ニ打撃ヲ受ケタ、斯ウ云フヤウナ事實ガアル、所ガ今度ハ世界ノ大戰デ、歐羅巴本國ノ甘蔗糖ガ非常ニ衰ヘタ爲ニ、植民地ノ甘蔗糖ガ盛ニ發達シタ、戰爭ガ濟ムト、内國ノ甘蔗糖ニ更ニ力ヲ盡シタ爲ニ、今度ハ世界ノ砂糖ガ生産過剰ヲ生ジテ、殊ニ甘蔗糖ガ非常ニ困難ヲスル、歐羅巴ノ甘蔗糖モ困難ヲスルト云フノデ、色々ナ砂糖ノ生産制限ト言ッタヤウナ協定モ起ッテ來タコトハ、拓務大臣モ御承知ノ通りト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ一例ヲ舉ゲテ見マシテモ、常ニ内地植民地ノ産業ハ利害ガ相反シテ、非常ナ衝突ヲスルコトガアルノデアリマス、殊ニ私ハ日

本ノ場合ヲ考ヘテ見ルト、朝鮮ノ如キハ殆ド内地ト氣候風土モ變ラナイ、農業ノ主體ヲ爲ス所ノ作物等ニ於テモ稍、似テ居ル、斯ウ云フヤウナ實情ニアリマス、臺灣ハ多少違ヒマスガ、ソレデモ米作ヲ主トスル農業カラ考ヘテ見ルト、稍、同ジヤウナ感ジガシマス、デ是ガ今日一面ニ於テ非常ニ都合ノ好イコトデアルト同時ニ、一面ニ於テハ米ノ問題ヲ解決スルノニ非常ナ惱ミヲ生ジタ原因ノ一ツダト思ヒマスガ、サウ考ヘル時ニ、我國トシテモ此植民地ノ産業政策ニ對シテハ、一定ノ方針ガナケレバナラヌ、其方針ハ一體ドウ云ウ風ニ御定メニナッテ居リマセウカ、ソレヲ拓務大臣ニ先ヅ御伺致シタイト思ヒマス

○松田國務大臣 御尤ナ御質問デアリマスガ、拓務省ニ於キマシテモ、拓務省ガ主トナリマシテ、植民地ノ産業ノ内地トノ調節及ビ統制等ニ關シテ、銳意調査シテ、方針ヲ樹テヨウト考ヘテ居リマス、ソレデ財政等モ許スナラバ、朝野ノ斯ルコトニ精通シテ居ル人ノ委員會ヲ組織シマシテ、サウシテ委員會ニ諮問シテ決定シタイト思ヒマシタケレドモ、豫算等モ取レマセズシテ、拓務審議會ト云フモノヲ拵ヘルコトガ出來ナインデアリマスカラ、金ノ掛ラヌ工夫ヲシマシテ、東郷君ノ御承知ノ通りニ

拓務懇談會ト云フモノヲ設ケマシテ、此道ニ精通シテ居ル人ニ委員ニナッテ戴イテ、産業ノ調節トカ産業ノ統制ニ關スルコトニ付テ、諮問ヲ發シマシテ、數回會合シマシテ、米ニ關スルコト、カ、或ハ甘蔗ニ關スルコト、カ、材木ニ關スルコトダトカ、鹽ニ關スルコト、カ、色々ナ産業ノコトニ付テ、調節按配シ、統制ヲ取ルコトニ付テ今研究中デアリマシテ、モウ近イ中ニ此答申モ出來上ルト思ッテ居リマス、成べく此内地ノ關係ヲ能ク考慮シマシテ、サウシテ此調節按配等、統制ヲ付ケテ見タイト云フコトニ、今銳意努力中デアリマス

○東郷委員

拓務省ニ於テ御研究中デアリ、又確タル御方針ガ定ッテ居ナイヤ

ウデアリマスカラ是レ以上ハ御尋致シマセヌ、ソコデ續イテ拓務大臣ニ御尋致シマスガ、私ハ此委員會デ質問ヲ始メマス當初ニ於テ、幣原首相代理ニ我國ノ産業乃至ハ食糧政策ノ根本ニ關シテ御意見ヲ承ッタノデスガ、其際日本ノ食糧、特ニ此米ニ付テハ、出來ルダケ内地先ヅ生産シテ行キ、内地デ必要トスル米ハ最善ヲ盡シテ、内地先ヅ生産ニ努力スル、併ナガラソレデモ事實足ラナイノダガ、其足ラヌ所ハ何處ニ第二ノ方針トシテ求メルカト云フト、殖民地ノ産米ニ之ヲ求メル、ソレデモ

尙ホ足ラヌ場合、又或特殊ナ目的ニ必要ナ場合ニ於テノミ外國米ノ供給ニ之ヲ仰グ、斯ウ云フコトガ我國ノ此米ニ對スル根本ノ方針デアルト思フト云フ、私ノ考ヲ話シテ、總理大臣代理ノ御意見ヲ承ッタ所ガ、其ノ通りデアルト云フ御答辯デアリマシタ、即チ現内閣ト致シマシテモ只今申シマシタヤウニ、米ハ先ヅ内地デ作ル、ソレデ足ラヌ所ヲ殖民地ニ仰グ、尙ホソレデモ不足スル場合、若クハ特殊ナ目的ノ爲ニ外米ヲ持ッテ來テ、サウシテ茲ニ食糧ノ調節ヲシテ行ク、斯ウ云フコトガ大體ノ御方針デアルト認メルデアリマスガ、此方針ニ付テ拓務大臣モ同様ノ御方針ヲ御認メニナリマスカドウカ御伺致シマス

○松田國務大臣

大體ソレデ宜カラウ

ト思ヒマススケレドモ、殖民地ノ産業ノコトモヤハリ考ヘナケレバナラヌシ、ソレカラ朝鮮ノ産米増殖計畫ノコトニ付テハ——内地ニ米ノ足ラヌ時分ニ、産米増殖計畫等モヤッタノデアリマシテ、大體今東郷君ガ御聽キニナッタヤウニ、大體ノ方針ハソレデ宜カラウト考ヘテ居リマス

○東郷委員

拓務大臣モ大體ノ方針ガソレデ宜イト云フコトヲ御認メニナッタ譯デスガ、サウシマスレバ斯ウ云フ結論ニナルト思ヒマス、我國ニ於テハ

食糧殊ニ米ノ問題ハ、自由ニ放任ハシナイノダ、何處カラデモ安イモノヲ持ッテ來テ、サウシテ成べく安イ食物ヲ國民ニ與ヘルト云フノデハナクシテ、國家ノ存立ノ上カラ言ッテモ、自然ニ放置シナイデ、特別ナ、人爲的ナ方策ヲ以テ此趣旨デ進ムノダ、斯ウ云フコトデアレバ、サウシテ先ヅ第一内地米ニ重キヲ置イテ行クト云フコトガ必要ナ條件デアルト云フナラバ、詰リ内地ノ米作農ガ成立ッテ行クダケノ國策ト云フモノガ茲ニ必要ヲ生ジテ來ル譯デアリマス、内地ノ米作農ガドウナッテモ構ハス、斯ウ云フ議論ハ成立タヌ譯デアアル、隨テ此根本ノ趣旨ニ出發シテ、吾々ハ殖民地ノ米ノ問題モ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、是モ御異存ハナイト思ヒマスガ、サウスレバ殖民地米ノ爲ニ、若モ内地米ガ非常ナ壓迫ヲ受ケテ、サウシテ内地ノ米作農ガ成立ッテ行カナイ、斯ウ言ッタヤウナコトヲ吾々ハ許ス譯ニハ行カナイ、ソレカラ殊ニ其殖民地米ガ特殊ナ事情ニ依ッテ生産サレテ、其生産費ガ安イ、隨テ米ノ値モ、品質ニ於テ變リハナイガ、價ニ於テハ安イ、斯ウ云フコトガアッテ、ソレガ内地ノ米價ヲ非常ニ壓迫スルト云フヤウナコトニナレバ、其處ニ何トカシテ殖民地カラ入ッテ來ル米ノ移入ニ關スル一ツノ統制ガ起ッテ來ル、斯ウ云フコトデアラウ

ト思ヒマス、即チ此趣旨ニ依ッテ、出來秋ノ殺到ヲ防グ爲ニ、朝鮮ニ於テモ色々農業倉庫其他ノ倉庫業ニ全力ヲ擧ゲラレテ苦心サレテ居ルト云フコトヲ承ッタ譯デスガ、併シ私茲ニ御伺シテ見タイト思ヒマス、ソレハ其趣旨デ農業倉庫等ヲ以テ出來秋ノ殺到ヲ防グガ、生産ト云フモノヲ自由ニシテ置イテ、殖民地ノ生産ト云フモノハ自由ダ、出來ルダケ出來レバ宜イノダ、但シ出來タルモノヲ月別平均ニ移入シサヘスレバ、ソレデ統制ハ取レルノダ、斯ウ云フ議論ハ私ハ成立チ得ナイト思ヒマス、デスカラ今年ハ非常ニ豐作ダカラ八百萬石内地ニ入レル、是ハ已ヲ得ナイ、此豐作ガ何時マデ續クカ疑問デスガ、ソレハ別問題ト致シマシテ、サウ云フヤウニ向フニ出來タノヲ、ソレヲ差別待遇自由ニ一年中ニ入ルダケ入レル、唯月別平均デ入レルト云フヤウナコトダケノ統制デハ、是ハ將來私達ハ、内地ノ農業ガ成立ット云フコトガ、國策ノ上ノ必要條件デアルト云フ點カラ考ヘレバ、非常ニ不安ナ感ジガスルノデス、今ノヤウナ方針デ、單ニ出來タモノハ其儘幾ラデモ入レル、但シ月別平均デ入レルト云フヤウナ統制ダケデ、此重要ナ問題ガ解決サレルノデアリマセウカ、私ハ拓務大臣及ビ農林大臣兩方ノ立場

カラ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○松田國務大臣

大體昨日申上ゲタノ

デアリマスガ、産米ノ増殖計畫ト云フモノハ、朝鮮ノミノ爲デハナク、内地ノ米ガ足ラヌ爲ニ、産米増殖計畫ヲ立テ、議會ノ協賛ヲ求メタノデアリマス、ソレデ今東郷君ノ申サレタヤウニ、生産ハ隨意ニサセテ、サウシテソレヲ内地ニ移入スルニ付テ月別平均ノ處置ヲ取ル、出來秋等ニ殺到ヲシナイヤウニスルト云フコトハ、當分ノ政策トシテハ私ハ宜カラウト思ヒマスケレドモ、將來ドウスルカト云フコトニ付テハ、先刻東郷君ニ答ヘタ通りニ、拓務省ニ於テハ産業全體ニ付テノ統制ト云フコトヲドウスルカト云フコトニ付テ銳意研究シテ、今ノ東郷君ノ言フコトモ餘程私ハ考慮ニ入レマシテ、今折角研究シテ居ルノデアリマスケレドモ、大分是ハムヅカシイ問題デアリマシテ、直チニドウト云フコトヲ御答スルコトハ甚ダムヅカシイコトデアリマス、東郷君ノ趣意ノ在ル所モ能ク考ヘマシテ、何トカ方法ヲ確立シタイト考ヘテ居リマス

○町田國務大臣

今私ヘモ御尋デアリ

マシタカラ大體申上ゲテ置キマス、東郷君ノ今後ノ米價對策トシテ、内地殖民地全體ヲ通ジタ上ニ於テノ、將來ヲ御考ニナッテ御心配ト言ウテ宜シイカ、

將來ニ關シタ御意見ハ大體御同感デア

リマス、私共常ニソレヲ考ヘテ居リマス、動モスレバ内地ノ米價ガ朝鮮ノ爲ニ壓迫サル、ト云フコトハ、能ク農會邊リカラモ出テ居ッテ、一應左様ナ感じモ致シテ居リマス、ソコデ今内地デモ耕地ノ擴張、農事ノ改良等ニ依ッテ増殖計畫ヲ著々ヤッテ居リマス、朝鮮ニハ増殖計畫モアリマス、ソコデ人口ノ増加ニ伴ッテ内地ノ耕地擴張、農事改良其他或ハ用排水ノ工事トカ、品質ノ改良等ニ依リマシテ、生産費ヲ安クスルト同

時ニ、内地ノ收穫ガ今ヨリモ相當増加

シ、而シテ朝鮮ノ産米計畫ガ出來マス

時ニ、人口ノ増加以上ニ米ノ收穫ガ内

地ニ於テモ増シ、朝鮮ニ於テモ増シ、或

ハ臺灣ニ於テモ増スカモ知レマセヌ、

ソコデ内地、朝鮮、臺灣ヲ一括シテ、人

口増加ニ伴フ食糧ノ供給ガ剩餘ヲ生ズ

ルヤウナコトガ今後アリトスレバ、ド

ウシテモ今東郷君ノ御心配ノヤウナ

點ハ考ヘナケレバナラヌ、唯昨年ダケ

ノ大豐作ニ依ッテ、直ニ從來ノ施設方針

ヲ變ヘル譯ニ參リマセヌカラ、今後數

年ノ趨勢ニ依ッテ人口増加ニ伴フ食糧

收穫ノ増加ガ人口増加ノ速力ヨリモ、

モット増加ノ割合ガ大トナリ、是ガ爲ニ

殖民地ノ産米ガ從來豫期シタ以上ニ内

地ノ供給ヲ過多ナラシムル原因ト相成

ッテ來ル場合ガアリトスルト、拓務大臣

ノ答辯セラレタ如ク、或ハ殖民地ダケニ於テモ相當ナ産業政策ノ上ニ於テ、内地ト衝突セヌヤウナ方法ヲ朝鮮デモ考ヘテ戴カナケレバナラズ、或ハ米自身ノ問題ニ對シテモ、或ハ米穀法ノ問題ヲモット廣イ範圍ニ行フヤウナ考ニ、一遍考究シテ見ルカ、然ラザレバ朝鮮總督府等ニ於テ、朝鮮ダケニ於ケル一種ノ米價對策ヲ更ニ考究スルコトガ、必ズ生ズルコトガアリ得ル、其前途ニ對スル御考ハ大體、御同感デアリマ

○東郷委員

拓務、農林兩大臣、共ニ植

民地ト内地トノ米ノ問題ニ付テハ現在

ノ儘デハイケナイ、將來何トカ根本的

ニ策ヲ樹テナケレバナラヌト云フ御意

見ヲ承ッタノデスガ、其點ニ付テ私モウ

少シ承ッテ見タイ、從來ハ大體ニ於テ米

ガ足りナイ、内地、植民地ヲ通ジテ見テ

モ尙ホ不足ガアル、斯ウ言ッタヤウナコ

トガ出發點ニナッテ、色々ノ策ガ考ヘラ

レテ居ッタノデスケレドモ、將來ヤハリ

サウ云フヤウナ傾向デ行クカドウカ、

是モ只今御話ノアッタヤウニ、中々問題

ダラウト思ヒマス、無論昨年ノ米ガ、内

地植民地ヲ通ジテ非常ナ豐作デアッタ、

ソレデ今後ハア、云フ調子デ行クダラ

ウト云フ心配モアラウガ、私自身ノ考

デハ、サウトモ思ヒマセヌ、是ハ氣候其

他ノ關係カラ、特ニ非常ナ豐作デアッ

タ、殊ニ朝鮮ノ如キ豐作ハ、サウ云フコトガ手傳ッテ居ルト思ヒマス、デスカラ本年ノ狀態ヲ以テ、直ニ將來ヲトスル譯ニ行キマセヌ、私總理大臣ニ御伺シタ時モ申上ゲマシタガ、農林省ガ三十二年間ノ將來ヲ豫測シタ計數ガ出テ居ルガ、アレハ確カ昭和二年ダッタカト思ヒマスガ、ソレヲ見マシテモ、アノ計算ニ較ベテ、今日マデノ豫定ヨリモ餘計、詰リ内地ナリ植民地ニ米ガ出來テ來タノカト思フ、隨テ一年平均四百萬石ノ外米ヲ輸入スル豫定ニナッテ居ルノガ、外米ノ輸入ハ統計ノ示ス通り、ソレ以來ズット減ッテ居リマス、ソシテ關係デ、ドウ考ヘテモ今日ハモウ三十年計畫ヲ基礎トシテ物ヲ考ヘル譯ニハ行カナイ、

ダカラ新シク何カ根本策ヲ御立テ、ニナ

ラナケレバイケマイト先日モ申上ゲタ

譯デス、ソコデ私斯ウ云フ御考ハ持ッテ

イラシヤラナイカト云フコトヲ承リタ

イ、從來ハ米ガ足ラナイト云ッタヤウナ

頭ニ支配サレテ、米ノ輸出ト云フコト

ニハ殆ド頭ヲ向ケテ居ナカッタ、内地ハ

勿論、朝鮮、臺灣總テサウデアリマス、

此慣習ガ手傳ッタモノデヤナイカト思

フ、コンナニ米ガ澤山出來テ居ルノニ、

朝鮮總督府デハ、昨日御尋シタヤウニ、

前年ト同ジダケノ輸出シカ御見込ニ

ナッテ居ナイ、臺灣亦然リ、臺灣ノ方ハ

殆ド今年ノ需給表ヲ見テモ、輸出ヲ見

テ居リマセヌ、是ハ私ハ米ガ足りテモ足ラナクテモ、常時的ニ内地ノ米、特ニ臺灣、朝鮮ノ米ヲ外國市場ニ出シテ、日本ノ内地米、植民地米ヲ、所謂世界的商品トシテノ價值ヲ具ハシメテ置イタ方ガ宜クナイカト斯ウ考ヘマス、サウデアリマセヌト、非常ニ米ガ餘ッタガ、俄カニ輸出ヲシヨウト考ヘテモ、非常ニ安ク賣ルカ、或ハ非常ニ犠牲ヲ拂ハナケレバソレガ出來ナイ、外國市場ト云フモノハ、サウ俄カニ攪ム事ハ出來ナイノデスカラ、サウ云フヤウナ點カラ言ッテモ、平常ニ相當輸出モスル、或ハ其爲ニハ獎勵金等モ必要デアリマスガ、併ナガラ内地ニ於テ米ヲ買ッテ、サウシテ消費シテ行クト云ッタヤウナ事ヲ考ヘテ見レバ、必ズシモ外國輸出ガ損失デアルトモ思ハレナイ、サウシテ置ケバ、今度ハ足ラヌ場合ニハ、外國カラ持ッテ來ル餘裕ノアル場合ニハ入レテ置ク、サウシテソコデ調節ヲシテ行クト云フ、此日本ノ米ノ調節ノ範圍ヲ、内地、植民地ダケデナイ、モット擴メテ行クト云フ國策ガ、私ハドウシテモ必要ダト思ヒマスガ、之ニ對スル農林大臣、殊ニ植民地ノ米ノ輸出ノ問題デスガ、拓務大臣ノ御意見ハ如何デアリマスカ、之ヲ御伺ヒ致シタイ

○町田國務大臣 何レ拓務大臣カラモ御答ガアリマセウガ、極メテ有益ナル

御質問ヲ受ケマシテ、私モ此機會ニ於テ、現ニ農林省ノヤッテ居ル施設ノ一端ヲ申上ゲル機會ヲ得タコトヲ有難ク思ヒマス、實ハ今日ノ午前ニ貴族院ニ於キマシテ、奥田貴族院議員カラ、稍、只今ノ御質問ト似タヤウナ御尋ヲ受ケタノデアリマス、大體ハ申上ゲテ置キマシタガ、大體ハ御同感デアリ、昨年來私共モソレヲ實行シテ居リマス、ドウカシテ日本ニ米ガ足りナイ時ハ、場合ニ依レバ外國米ノ供給ヲ仰グ事モアリマセウガ、昨年ノ如ク内地、殖民地ヲ合シテ、過剩米ガ生ジタト云フ時ニハ、之ヲ外國ニ輸出スルコトノ方法ガ、特別會計ノ金モ使ハズ、數量調節モ出來ルカラ、一番理想的な案トシテ、御考ノ通りデアリマス、唯私ガ取調ベマシタ所ガ、大戰爭前ニハ、相當日本ノ米モ歐羅巴方面ニ參ッテ居ッタヤデウアリマスルガ、世界大戰以來日本ノ米ヲ外國ニ輸出スルト云フコトハ、輸出商ノ間ニモ此ハ一切行ハレテ居ラナカッタ、左様デアリマスカラ、昨年ハ政府ガ所有シテ居ル古米ヲ餘リ、良イ値デハアリマセヌガ、之ヲ一年貯ヘテ、倉敷料ヲ損スルヨリモ、思切ッテ賣出シタ方ガ宜イト云フ意味デ、餘リ良イ値デハナカッタガ、相當賣ッテ居リマス、而シテ今後ハ十萬石トカ十五萬石位ハ、年々日本米ニ向ッテ需要ガアル各方面ニ常ニ出シ

テ置イテ、日本米ノ嗜好ヲ常ニ各國ノ間ニ、所謂宣傳用トシテヤッテ居ルコトト、モウ一ツハ貴族院デモアリマシタガ、朝鮮臺灣米ヲ内地ニ入レテ、其供給ヲ調節スル爲ニ内地ノ米ヲ買ウヨリモ、朝鮮、臺灣ノ米ヲ買ッテ、ソレヲ直グ輸出シタ方ガ便利デナイカト云フ今ノ東郷サンノ御尋ト、稍、似タコトガアリマシタ、今ハ内地米ヲ主トシテヤッテ居リマシテ、臺灣、朝鮮米ヲ買ヘヌコトニハナッテ居ルガ、内地米ヲ調節スル必要上カラ、左様ナ働モ私ハ出來得ヨウト考ヘテ居ル節モアリマスカラ、今後ノ對策トシテハ、或ハ一旦内地ヘ朝鮮米ガ入ッテ來ル、サウシテ内地米ヲ調節スル爲ニ、相當大キナ金ヲ費スト云フヤウナコトニ對シテ、何等カノ方法ガアレバ、朝鮮、臺灣ノ米ヲ比較的安ク手ニ入レテ、之ヲ外國ニ輸出スルコトニ付テ何等カノ途ガアリ得ベキモノト思ッテ、折角法規ノ上カラモ其點ヲ考慮中デアリマス、何レニシテモ餘ッタ時ハ外國ニ捌クト云フコトガ、最モ理想的デアリマス、既ニ先日モ申上ゲマシタ通り、甚ダ惡イ米デアリマスガ、三箇月ノ間ニ七十萬石モ出シテ、需要供給ノ調節ヲ致シテ居ルモノガ、一年ノ間ニ相當大キナ數量ニ達スルト思ヒマス、尙ホ此機會ヲ出發點ト致シマシテ、今後ハ毎年相當ノ數量ヲ諸外國ニ

頒チマシテ、日本米ノ嗜好ヲ植付ケテ、斯様な場合ニハ多量出ス準備ヲスル積リデアリマシテ至極同感デアリマス、尙ホ委員長ニ申シマスガ衆議院ノ本會議デ質問ガアルカラト申シテ參リマシタカラ、一寸出テ參リマスカラ御諒承ヲ願ヒマス

○松田國務大臣 大體農林大臣ガ答ヘタ通りデアリマス、臺灣ノ米ハ「フィリッピン」アタリニ輸出ヲシヨウト云フ計畫ヲシテ居リマススケレドモ、マダ實行シテ居リマセヌ、朝鮮ノ關係ニ付テハ、昨日小坂政務次官カラモ一應答辯致シマシタ通りデアリマス、内地ト殖民地ト米穀ニ關スル統制トカ、或ハ米穀法ヲ朝鮮ニ施行スルト云フヤウナコトニ付テ考慮ヲ廻ラシマシテ——詰リ農林大臣ガ言ッタヤウニ、朝鮮臺灣ノ米ガ買ヘルコトガ出來ヤシナイカト云フ論モアルノデアリマスカラ、サウ云フ點ハ研究シマシテ、御趣意ノアル所ヲ考慮シテ、一ツ輸出計畫ニ付テモ考ヘテ見タイト思ッテ居リマス

○東郷委員 農林大臣ガ席ヲ外サレタノデ、一寸私ハ質問ニ困ルノデスガ……大體拓務大臣ニ御尋スルコトハ盡キマシタシ、私ハ最後ニモウ一ツ農林大臣ニ承ラナケレバナラナカッタノデアリマスガ、農林大臣ガ居ラレヌデモ、他ノ農林當局ガ居ラレマセウカラ、私

質問ヲ續ケマスガ、只今御尋致シマシタ所カラ考ヘマスルト、要スルニ内地、植民地ヲ通ジテ米ノ政策、或ハ一般産業政策ニ付テ、マダ御研究中デ、確定シタ根本方針ガ定マッテ居ナイヤウデアリマスガ、是ハ將來ノ御研究ニ俟ヨリ仕様がナイト思ヒマスガ、併シ私先日來申上ゲテ居ルノデスガ、今度ノ米穀法ノ改正及ビ之ニ伴フ尙ホ米穀對策ト云フモノガ、ドウモ根本ニ觸レテ居ナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ、私ノ疑念ガ是デハッキリシテ參ル、即チ根本ニ觸レテ居ナイ、尙ホ米ノ問題ニ付テハ、幾多ノ重大問題ガ未解決ノ儘ニナッテ居ル、私ハ本當ニ此行詰ッタ内地ノ米作農ヲ、適當ナ經濟的地位ニ安定セシメ、更ニ植民地ノ米作其他ノ産業モ相當ナ經濟的獨立性ヲ帶ビサセルト云フコトニ付テハ、ドウモ是ハ現内閣ダケト申シマセヌ、日本ノ過去ニ於ケル歴代ノ内閣ガ、其點ニ於テハ行届カナカッタ點ガアルト思ヒマスガ、此問題ヲ解決スルト云フコトガ今日ノ急務ダト思フ、米穀法ノ一部改正、基準米價ヲ設定スルト言ッテヤウナ改正、是ハ農林大臣ハ根本的ノ改正ダト昨日來頻リニ仰シヤルケレドモ、サウ云フモノハ多々アル、根本的の方針ノ趣旨ヲ遂行スル上ノ一ツノ手段ニ過ギヌト思フノデアリマス、私ハドウシテモ内地、植民地ヲ打ッテ一丸

アリマスカラ、私カラモ一言拓務大臣ニ御伺ヒシタイ、私ガ本會議デ、朝鮮米ノ移入ガ内地ノ產米ヲ壓迫スルト云フコトヲ申シマシタ、サウシテ同時ニ一千八百萬圓ノ低利資金ヲ融通シテ、サウシテ、朝鮮米ノ移入ヲ月別平均ニスルト云フ政府ノ計畫デアルト云フコトデアルガ、是ハ事實裏切ッテ居ルト云フコトモ申上ゲタ、其時ニ拓務大臣ガ私ニ對スル答辯ニ、朝鮮ニ於ケルソレ等ノ方法ハ今初テノ試デアルカラ十分デハナイガ、努力中デアアル、又產米計畫ノ變更ヲスル意思ガナイカト云フコトデアリマシタガ、之ニ付テハ斷然アリマセヌ、斯ウ云フ明確ナ答辯デアリマシタ、是ハ拓務大臣ノ御答辯ハ、恐ラクサウ云フ風ナ所デアアル事ハ、私モ承知シテ居リマシタノデアリマスガ、今東郷君カラ縷々申述ベタ如ク、實ハ此内地ノ米ノ價格ノ暴落ト云フコトハ、大體本年ノ價格ガ非常ニ安カッタト云フコトハ、是ハ豐年ノ結果デ、生産ガ過剰デアッタト云フコトガ一ツノ原因ニハ相違ナイケレドモ、各種ノ原因ガ綜合シテ居ル、或ハ經濟界ノ變動、又景氣不景氣ニ依ッテ、非常ナ偉大ナ暴落ヲ致シタト云フコトハ、是ハ爭フベカラザル事實デアリマスガ、特ニ朝鮮米ガ内地ニ移入スルヤウニナリマシテカラ以來、殆ド此内地ノ米穀法ト云フモノガ、威

力ノ無クナッタノハ、全ク是ガ原因デア

質問ヲ續ケマスガ、只今御尋致シマシタ所カラ考ヘマスルト、要スルニ内地、植民地ヲ通ジテ米ノ政策、或ハ一般産業政策ニ付テ、マダ御研究中デ、確定シタ根本方針ガ定マッテ居ナイヤウデアリマスガ、是ハ將來ノ御研究ニ俟ヨリ仕様がナイト思ヒマスガ、併シ私先日來申上ゲテ居ルノデスガ、今度ノ米穀法ノ改正及ビ之ニ伴フ尙ホ米穀對策ト云フモノガ、ドウモ根本ニ觸レテ居ナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ、私ノ疑念ガ是デハッキリシテ參ル、即チ根本ニ觸レテ居ナイ、尙ホ米ノ問題ニ付テハ、幾多ノ重大問題ガ未解決ノ儘ニナッテ居ル、私ハ本當ニ此行詰ッタ内地ノ米作農ヲ、適當ナ經濟的地位ニ安定セシメ、更ニ植民地ノ米作其他ノ産業モ相當ナ經濟的獨立性ヲ帶ビサセルト云フコトニ付テハ、ドウモ是ハ現内閣ダケト申シマセヌ、日本ノ過去ニ於ケル歴代ノ内閣ガ、其點ニ於テハ行届カナカッタ點ガアルト思ヒマスガ、此問題ヲ解決スルト云フコトガ今日ノ急務ダト思フ、米穀法ノ一部改正、基準米價ヲ設定スルト言ッテヤウナ改正、是ハ農林大臣ハ根本的ノ改正ダト昨日來頻リニ仰シヤルケレドモ、サウ云フモノハ多々アル、根本的の方針ノ趣旨ヲ遂行スル上ノ一ツノ手段ニ過ギヌト思フノデアリマス、私ハドウシテモ内地、植民地ヲ打ッテ一丸

アリマスカラ、私カラモ一言拓務大臣ニ御伺ヒシタイ、私ガ本會議デ、朝鮮米ノ移入ガ内地ノ產米ヲ壓迫スルト云フコトヲ申シマシタ、サウシテ同時ニ一千八百萬圓ノ低利資金ヲ融通シテ、サウシテ、朝鮮米ノ移入ヲ月別平均ニスルト云フ政府ノ計畫デアルト云フコトデアルガ、是ハ事實裏切ッテ居ルト云フコトモ申上ゲタ、其時ニ拓務大臣ガ私ニ對スル答辯ニ、朝鮮ニ於ケルソレ等ノ方法ハ今初テノ試デアルカラ十分デハナイガ、努力中デアアル、又產米計畫ノ變更ヲスル意思ガナイカト云フコトデアリマシタガ、之ニ付テハ斷然アリマセヌ、斯ウ云フ明確ナ答辯デアリマシタ、是ハ拓務大臣ノ御答辯ハ、恐ラクサウ云フ風ナ所デアアル事ハ、私モ承知シテ居リマシタノデアリマスガ、今東郷君カラ縷々申述ベタ如ク、實ハ此内地ノ米ノ價格ノ暴落ト云フコトハ、大體本年ノ價格ガ非常ニ安カッタト云フコトハ、是ハ豐年ノ結果デ、生産ガ過剰デアッタト云フコトガ一ツノ原因ニハ相違ナイケレドモ、各種ノ原因ガ綜合シテ居ル、或ハ經濟界ノ變動、又景氣不景氣ニ依ッテ、非常ナ偉大ナ暴落ヲ致シタト云フコトハ、是ハ爭フベカラザル事實デアリマスガ、特ニ朝鮮米ガ内地ニ移入スルヤウニナリマシテカラ以來、殆ド此内地ノ米穀法ト云フモノガ、威

力ノ無クナッタノハ、全ク是ガ原因デア

質問ヲ續ケマスガ、只今御尋致シマシタ所カラ考ヘマスルト、要スルニ内地、植民地ヲ通ジテ米ノ政策、或ハ一般産業政策ニ付テ、マダ御研究中デ、確定シタ根本方針ガ定マッテ居ナイヤウデアリマスガ、是ハ將來ノ御研究ニ俟ヨリ仕様がナイト思ヒマスガ、併シ私先日來申上ゲテ居ルノデスガ、今度ノ米穀法ノ改正及ビ之ニ伴フ尙ホ米穀對策ト云フモノガ、ドウモ根本ニ觸レテ居ナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ、私ノ疑念ガ是デハッキリシテ參ル、即チ根本ニ觸レテ居ナイ、尙ホ米ノ問題ニ付テハ、幾多ノ重大問題ガ未解決ノ儘ニナッテ居ル、私ハ本當ニ此行詰ッタ内地ノ米作農ヲ、適當ナ經濟的地位ニ安定セシメ、更ニ植民地ノ米作其他ノ産業モ相當ナ經濟的獨立性ヲ帶ビサセルト云フコトニ付テハ、ドウモ是ハ現内閣ダケト申シマセヌ、日本ノ過去ニ於ケル歴代ノ内閣ガ、其點ニ於テハ行届カナカッタ點ガアルト思ヒマスガ、此問題ヲ解決スルト云フコトガ今日ノ急務ダト思フ、米穀法ノ一部改正、基準米價ヲ設定スルト言ッテヤウナ改正、是ハ農林大臣ハ根本的ノ改正ダト昨日來頻リニ仰シヤルケレドモ、サウ云フモノハ多々アル、根本的の方針ノ趣旨ヲ遂行スル上ノ一ツノ手段ニ過ギヌト思フノデアリマス、私ハドウシテモ内地、植民地ヲ打ッテ一丸

アリマスカラ、私カラモ一言拓務大臣ニ御伺ヒシタイ、私ガ本會議デ、朝鮮米ノ移入ガ内地ノ產米ヲ壓迫スルト云フコトヲ申シマシタ、サウシテ同時ニ一千八百萬圓ノ低利資金ヲ融通シテ、サウシテ、朝鮮米ノ移入ヲ月別平均ニスルト云フ政府ノ計畫デアルト云フコトデアルガ、是ハ事實裏切ッテ居ルト云フコトモ申上ゲタ、其時ニ拓務大臣ガ私ニ對スル答辯ニ、朝鮮ニ於ケルソレ等ノ方法ハ今初テノ試デアルカラ十分デハナイガ、努力中デアアル、又產米計畫ノ變更ヲスル意思ガナイカト云フコトデアリマシタガ、之ニ付テハ斷然アリマセヌ、斯ウ云フ明確ナ答辯デアリマシタ、是ハ拓務大臣ノ御答辯ハ、恐ラクサウ云フ風ナ所デアアル事ハ、私モ承知シテ居リマシタノデアリマスガ、今東郷君カラ縷々申述ベタ如ク、實ハ此内地ノ米ノ價格ノ暴落ト云フコトハ、大體本年ノ價格ガ非常ニ安カッタト云フコトハ、是ハ豐年ノ結果デ、生産ガ過剰デアッタト云フコトガ一ツノ原因ニハ相違ナイケレドモ、各種ノ原因ガ綜合シテ居ル、或ハ經濟界ノ變動、又景氣不景氣ニ依ッテ、非常ナ偉大ナ暴落ヲ致シタト云フコトハ、是ハ爭フベカラザル事實デアリマスガ、特ニ朝鮮米ガ内地ニ移入スルヤウニナリマシテカラ以來、殆ド此内地ノ米穀法ト云フモノガ、威

力ノ無クナッタノハ、全ク是ガ原因デア

デ動キガ付カヌト云フコトニナツテ、朝
鶴米ガ漸次安イ勞銀ト、生産費ノ安イ
モノヲ作り出シテ來テ、内地ノ農業ヲ
壓迫スルト云フコトニナレバ、是ハ耐
ヘラレナイモノガアルト思フ、サウシ
テ朝鮮ノ開發ヲスル其資金ト云フモノ
ハ、例ヘバ低利資金ニシテモ、大部分ハ
内地ノ農民ノ預金其他ヲ以テ、サウシ
テ此會計補充金ニ付テモ稅ヲ以テ、一
般會計カラ補充スル、或ハ公債ニ依ッテ
補充財源ヲ出スト云フコトニシテ、サ
ウシテ此苦シイ中ヲ擯ッテヤル、朝鮮ノ
開發ヲヤル爲ニ、内地ノ農民ト云フモ
ノハ非常ナ不幸ニ陥ルト云フヤウナ狀
態ニアルナラバ是ハドウシテモ政治ノ
方カラ改革ヲ施サナケレバナラヌト思
フ、其點ニ付テ色々マダ計畫中デモア
ルシ、考ヘテモ居ルト云フコトデアル
ガ、俄ニ是等ノ政策ヲ一變スルコトハ
出來ナイト思フ、朝野ヲ通ジテ此問題
ハ重要ナ問題デアルカラ、ドウシテモ
此施行ヲ一日モ早クシナケレバナラヌ
ト思フ、ソコデ私ハ此米穀法ヲ朝鮮ニ
施行スル意志ハナイカト云フコトヲ御
尋シタラバ、之ニ對シテハ今考慮中デ
アルト云フ御答デアッタ、又農林大臣ノ
只今ノ御話ヲ承レバ、米穀法ヲ施行セ
ズトモ朝鮮、臺灣ノ米ヲ、米穀法ノ運用
ニ依ッテ買入レルコトガ、必ズシモ違法
デナイト云フヤウナコトモ考ヘテ居ル

ト云フ御答辯デアリマシタガ、私ハ寧
ロ第一ノ考ト致シマシテハ、米穀法ヲ
改正シテ、ソレデ朝鮮ニモ米穀法ヲ施
行スルト云フコトノ腹ヲ御キメニナル
コトガ必要デハナイカ、斯ウ考ヘテ居
ル、ソレハ此米穀法ガ非常ニ不完全ダ
ト云フ意見ヲ私ハ有ッテ居リマスガ、大
體米穀法ヲ朝鮮ニ施行スレバ、朝鮮ノ
米ヲ八百萬石、或ハ一千萬石デモ宜シ
イガ、之ヲ全部買入レルト云フコトガ、
若シ米穀法ノ運用デ出來ルナラバ、ソ
レダケデ調節ガ出來ルト思フ、サウシ
テ今ノ農業倉庫ノ計畫モ御有リニナル
ノデアリマスカラ、釜山或ハ門司デモ
宜シイシ、又產地デモ宜シイガ、朝鮮デ
出來秋ニ賣出ス所ノ米ハ全部買取ッテ
シマフ、政府ガ買取ッテシマフ、サウシ
テ倉庫ニ保管ヲスル、是ヲ倉庫ニ保管
ヲスルノハ、朝鮮デ保管ヲスル場合モ
アルシ、或ハ門司、馬關邊リデ倉庫ニ收
容スルコトモ出來ルシ、又内地ニ持ッテ
來テ内地ノ倉庫ニ保管スルコトモ出來
マス、倉庫モ七百萬石、八百萬石ト云フ
程ハ要ラナイダラウト思フ、朝鮮殖産
銀行ノ有賀君ノ說デハ、三百萬石モ買
ヘバ宜カラウト言ッテ居ル、三百萬石ノ
米ヲ買フト云フコトハ何デモナイコト
デアル、詰リ政府ガ米ヲ買ッテ、内地ヘ
入ル米ヲ、月別移入ヲスルノモ宜シイ
シ、或ハ生産過剩米ハ朝鮮デ調節スル

ト云フコトニシテ行ケバ、米穀法ハ損
ヲシナイ、米穀法ハ損ヲシナイデ、倉敷
ト金利ト運賃、是ダケノモノハ當然買
入價格ニ加ヘテ、サウシテ米穀法ノ運
用ニ依ッテ賣レバ宜イ、若シソレガイカ
ヌト云フナラバ、利子トカ或ハ運賃ト
云フヤウナモノガ高イ、非常ナ凶作デ
米ガ高イト云フヤウナ時ニハ、國家ガ
ソレダケノモノハ損失シテモ一向差支
ナイ、サウシテ朝鮮ノ米ヲ買フト云フ
コトニナレバ、内地ノ米トハ開キガ何
時モ三圓以上ハアルノデアルカラ、之
ニ對シテ内地ノ米ト平均値デ、或ル程
度ノ調節ヲ計ルト云フコトニナレバ、
一向政府ハ損ヲシナイデ、寧ロ利益ヲ
シヨウト思ヘバ、石ニ一圓ヤ、或ハ時ニ
依ッテハ二圓ノ利益モ見ルコトガ出來
ル、是ハ決シテ損ヲシナイデ、一舉兩得
ダ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ル、ソレ
デ之ガ完全無缺ナ米穀法ノ運用カト言
ヘバ、ソレハ議論ハアリマスガ、兎ニ角
モサウ云フ風ニスルコトガ、此米穀法
ノ改正ト云フコト、運用ト云フコト
ニ依ッテ行クナラバ、先ヅ專賣ヲ除イタ
外ニハ、ソレヨリ外ニナイ、デアルカラ
臺灣ノ米ヲ買ッテモ宜シイ、朝鮮ノ米ヲ
買ッテモ宜シイガ、ソレ等ノ經費ヲ計算
シテ見テモ、是ハ先ニ米穀調査會デモ
一應調査シタコトガアリマシタガ、サ
ウ大シタ金ハ掛ラヌ、四五千萬ノ金ガ

アレバ、裕ニ行ハレル、サウシテ事務費
ト云フモノハ僅デ済ム、此處ニ私ハ調
査シタモノモ持ッテ居リマスガ、サウ云
フコトニスレバ極メテ輕便デ内地ノ米
ノ調節ガ出來ルト云フ考ヘテ有ッテ居
ル、ソレデ此點ニ付テハ御座成デナシ
ニ、本當ニ國家ヲ思フ心カラ言フナラ
バ、殖民地米ノ統制ヲスル、サウシテ米
穀法ヲ適切ニ運用シテ、或ル程度ノ價
格ヲ維持シテ行クニハ、是ヨリ外ニハ
ナイト思フ、サウスルト内地ノ米ハ買
ハヌデモ宜シイ、朝鮮カラ入ッテ來ルダ
ケノ米ヲ買フ、彼處デ「チエック」スルト
云フコトニナレバ、何モ酒田ノ米ヲ買ッ
タリ、或ハ九州ノ米ヲ米穀法ニ依ッテ買
ッタリスル必要ハナイ、サウシテ朝鮮ノ
米ヲ全部買取ッテシマツテ、ソレニ依ッテ彼
處デ七八百萬石ノ調節ヲスレバ、本年
ノヤウニ非常ナ豐作ト云フヤウナコト
ガアツテモ、是ハ必ズ運用ガ出來ル、米
穀法運用ノ方法トシテハ、是ガ一番上
乗ナルモノデアアル、私ハ斯様ニ考ヘテ
居ルノデアリマスガ、是等ニ對シ拓務
大臣ノ御意見モ承リタイノデアアルガ、
不眞面目トハ申シマセガ、眞面目ニ現
狀ニ直面シテ、我が國家ノ上ニ重大ナ
ル影響ノアルコトデアリマスカラ、此
點ニ付テ深ク思ヒヲ致シテ貰ヒタイト
云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス
ガ、大體私ハサウ云フ觀念ガ、——米穀

法ノ過渡的經過トシテハ、ソレヨリ外ニ方法ガナイト云フコトヲ信念ノ上カラ考ヘテ居ルノデアリマスガ、一應拓務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデ、尙ホ自分ノ所見モ御參考マデニ申上ダタ次第デアリマス

○松田國務大臣 今米穀法ヲ植民地ニ施行スルト云フコトニ付テノ御意見ヲ伺ヒマシタガ、中々有益ナル御意見ト拜聴致シマシタ、大體ニ於テ趣旨ニハ反對モ致サヌノデアリマスガ、之ヲ行フニ付テハ財政ノ關係モアラウ、隨テ大藏省或ハ農林省等ニ付テモ多少ノ交渉ヲシタコトモアルノデアリマス、ソレカラ農會邊リデモ此點ニ付テ反對論者モアルヤウデアアル、私ハ其意向モ聴キマシタ、理想トシテハ大體ニ於テ反對モアリマセヌガ、此問題ハ餘程重大ナル問題デアリマシテ、今東君ガ申サレタヤウニ、國家ノ爲メ慎重ニ考慮シナケレバナラヌ問題ト考ヘルノデアリマス、御趣意ノアル所ハ能ク分ッテ居リマスケレドモ、私モ此問題ハ眞面目ニ考ヘ、殖民地及ビ内地ノ對策ニ付テ篤ト考慮シテ見タイト思フノデアリマス

○東委員 ソレカラ朝鮮ニ於ケル農業對策デアリマスガ、私モ朝鮮ニ付テハサウ深ク研究ハシテ居リマセヌガ、大正三年ニ農學士ヲ連レテ全道ヲ視察シ

タコトガアル、サウシテ土地ノ肥沃其他ノ關係ヲ調べタコトガアリマスカラ、多少ハ朝鮮ノ事情モ知ッテ居ル、大體朝鮮ノ人口ハ千九百萬人程アリマスカ、其七割マデハ農業ヲヤッテ居ル人間デアアル、マダ殆ド工業時代ニ達シテ居ラヌ過程ヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、朝鮮デ米ヲ主產物ニシテヤルト云フコトハ、最近著シク進展シマシテ、朝鮮米ノ改良ト云フモノモ非常ニ進ンデ、内地ヘ入ッテ來ル數モ改良ト同時ニ非常ニ多クナッテ來タノデアリマスガ、北海道ノ私共ノ選舉區邊リヘモ朝鮮米ガドンドン入ッテ來テ、佐賀米ト云フヤウナモノハ朝鮮米ニ逐ハレルト云フヤウナ狀況ニマデ改良サレテ來タ、是ハ洵ニ結構ダトハ思ヒマスガ、朝鮮ニハ火田ガ非常ニ多イノデ、改良スル時ニ金ガ非常ニ掛カルノデアリマスガ、此火田ヲ利用スルコトガ私ハ朝鮮ノ開發ノ上ニ於テ非常ニ必要ダト考ヘマス、ソレハドウ云フ點カラサウ云フコトヲ申スカト言ヒマス、第一ニ米ヲ主產物ニシテ產米計畫ヲスルト、内地ノ產米ヲ非常ニ壓迫スル、其以外ノモノデ農作物ヲ研究シテヤルト云フコトガ、農事試驗場其他ニモ相當ニ研究サレテ居ルダラウガ、殆ド米ニ向ッテ主力ヲ注イデ居ルト云フヤウナ今日マデノヤリ方デアアルヤウデアリマス、大麥トカ小麥

ノ生産ハ非常ニ少イ、小麥ナドハ日本ニ、外國カラ多イ時ニハ一億二三千萬圓モ入ッテ居ルシ、今日ト雖モ六七千萬圓ノ小麥ガ入ッテ居ル、内地ノ農作ニ於テモ小麥ヲ獎勵スルト云フコトハ、關稅ノ作用ニ依リ、又獎勵ヲスル上ニ於テ非常ニ必要デアアル、農業ノ上ニ於テ小麥ノ増產ヲ圖ルト云フコトガ、一番國益デアアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ朝鮮ナドニハ小麥ノヤウナモノヲ作ッテ行ク、或ハ製粉會社ヲ拵ヘルト云フ方面ニ、工業化シテ行クト云フコトヲ考ヘル、ソレカラ朝鮮ハ滿洲ト一衣帶水シテ居ルノデアリマスカ、滿洲カラ非常ニ多ク大豆ガ日本ニ入ッテ來ル、此大豆ナドヲ作ルト云フコトニ付テモ獎勵ヲシテヤルト云フコトニナレバ、是ハ内地ノ生産ト同ジャウニナッテ、ソレダケノ輸入ヲ滿洲カラ入レナクテモ宜イダラウト云フコトニナル、其他ニ特殊農業生産品ナドモ隨分多イダラウト思フ、例ヘバ朝鮮人參ナドハ世界ニ名ヲ持ッテ居ル、斯ウ云フ特殊農產物ト云フ方ニ、モウ少シ留意シテ、農業經營ノ改良ヲヤッテ、唯偏ニ内地ヲ壓迫スル米バカリヲ作ルト云フコトニ、總督府ガ頭ヲ用ヒルコトハ、大變間違ヒデハナイカト思フ、即チ日本ニ入ル米ノ輸入ヲ制限スルトカ、或ハ倉庫ヲ造ルトカ云フヤウナ色々ナコトヲ

ヤッテ、内地ノ移入ヲ幾分デモ防グト云フヤウナ政策ヲヤル位ナラバ、モウ少シ他ノ特殊ナ農產物ニ向ッテ保護獎勵ヲ加ヘテヤル、最近朝鮮デハ亞米利加人ガ彼處ニ大キナ玉蜀黍ノ澱粉製造ノ工場ヲ造ルト云フ計畫ガアルサウデアアルガ、アスコハ天然ノ火田ガ多イノデ殊農產物ノ海外輸出ニ力ヲ注グト云フコトガ大變必要ダト思フ、是ハ内地ノ米ヲ壓迫スルト云フ議論ト同時ニ、是等ノ方面ニ、モウ少シ力ヲ盡シ、總督府ガ獎勵保護ヲ小麥大豆ノ特殊ナ產物ニ與ヘルト云フコトハ、一舉兩得ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、是等ニ對シテ大臣、或ハ朝鮮ノ農業ニ經驗アル方カラ其御意見ヲ伺ヒタイ

○松田國務大臣 今ノ御質問ハ御尤ナ御質問デアリマシテ、政府モ其點ニ於テ大イニ見ル所ガアリマシテ、本年ノ朝鮮總督府ノ豫算ニ畑作獎勵計畫トシテ、十萬八千餘圓ヲ要求シマシタ、今東君ノ言ハレル小麥デアルトカ、大豆デアルトカ云フモノヲ全鮮ニ擴張シマシテ、食糧問題ノ解決ニモ資シ、雜穀ノ輸入ヲ防遏シテ、農家經濟ノ安定ヲ圖ル必要アリト認メテ、昭和六年度以降十二年ヲ期シ、畑作主要栽培面積二千二百八十九箇面ニ指導團ヲ設置シマシテ、專任技術員ヲ道及郡ニ配置シテ、是

ガ指導増殖獎勵ニ當ラシムルト共ニ、農事試驗場ノ西鮮支場ニ於テ、優良品種ノ選定及育成ニ努力セシムル爲ニ、十萬八千八百餘圓ノ豫算ヲ請求シテ、東君ノ御希望ノヤウナ計畫ヲ立ッテ見タイト考ヘテ居リマス、此豫算ハ既ニ衆議院ヲ通過シテ居リマス

又北鮮開拓調査費トシテ、十一萬二千八百餘圓ノ豫算ヲ要求シマシテ、火田ノ根本的整理ヲ爲スト共ニ北鮮ノ開拓ヲ策スルコトガ最モ急務ト認メマシテ、是ガ具體的ノ方法ヲ樹立スル爲ニ、朝鮮總督ニ委員會ヲ設置シマシテ、調査ノ要項ヲ定メテ、專ラ關係道府知事ヲシテ、ソレト調査ニ當ラシムルコトニシテ、北鮮開拓ノ根本方策ヲ決定センガ爲ニ、十一萬二千八百餘圓ノ豫算ヲ請求致シマシタ、全然東君ト同感デアリマシテハ、斯ウ云フコトニ付テ十分努力シテ見タイト思ヒマス

○東委員 サウ云フ計畫ヲ著々オヤリニナッテ居ルト云フコトハ、非常ニ結構ダト思ッテ居リマスガ、粟ノ滿洲カラ這入ッテ來ル額ガ非常ニ多イ、殆ド朝鮮ノ食糧品ハ粟ヲ以テ主食物トシテ、作ッタ米ハ日本ヘ出スト云フ建前ニナッテ居ルノデアリマスガ、米ノ消費量ヲ見マスト、一人當リ四斗何升デ非常ニ少イ、私共考ヘルノニハ、朝鮮ノ人間モ漸次生活ガ向上シテ來ルト、米ノ消費量モ

モット増進シハシナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルガ、サウスルト朝鮮モ人口ガドント殖エテ居ル、將來米ガドノ位消費量ガ増スカト云フコトハ、實ハ疑問ニシテ居ルノデアリマス、粟ヲ米ニ代ヘルト云フ、米ガ安クナルト、サウ云フコトモ起リ得ルモノデアアル、是等ノリマセスガ、斯ウ云フヤウナコトニ付テハ、拓務省邊リデハドウ云フヤウナ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ

○殖田政府委員 粟ハ段々朝鮮ニモ殖エテ參リマシテ、昨昭和五年ニ於キマシテ五百二十四萬四千石ノ生産ガゴザイマス、隨テ昭和元年、二年頃ニハ二百五十萬石ニモ達シマシタ粟ノ輸入量ガ段々減リマシテ、昨年中ニ百六十四萬七千石ノ輸入ニ止マッタ次第デゴザイマス、只今粟ヲ食ヒマシテ、作ッタ米ハ内地ニ賣ルト云フ御話ガゴザイマシタガ、必シモ左様デハナイヤウデアリマシテ、内地ト異リ、粟ヲ食フ地方ト、米ヲ食フ地方トガ全然別ニナッテ居リマス、内地ノ如ク粟ト米ヲ混食スルノデナク、粟ヲ食フ者ハ粟ダケ、米ヲ食フ者ハ米ダケ食フト云フヤウナ關係ダサウデアリマシテ、米ヲ止メテ粟ヲ食フ譯ニモ參ラヌラシイノデアリマス、又粟ヲ食フ所ニ參リマシテ米ヲ食ヘト言ッテモ、米ヨリ粟ノ方ガ宜イト云フノデ、

値段ノ如何ニ拘ラズ、ソレヲ適當ニ混浴スルコトガ出來ナイサウデアリマス、是ハ朝鮮ノ粟ト米トノ關係ノ特色デアリマシテ、實ニ其點ニ付キマシテ色々ト考慮致シテ居ルノデアリマスガ、今ノヤウナ實際ノ朝鮮人ノ生活狀態カラ來ル是ガ特長デアリマス爲ニ、自由ニナラヌノデアリマスガ、御話ノ如ク段々生活程度ノ向上ニ伴ヒマシテ米ヲ食ヒマス地域ガ、段々北ノ方ニ向ッテ進ンデ居ル譯デアリマス、詰リ南方ノ米ノ出來マス所ハ從來主トシテ米ヲ食ッテ居リマシテ、粟ヲ食ヒマセヌノガ、段々米ノ出來ル地域ガ北ノ方ヘ進ミマス共ニ、又米ヲ食ヒマス地域ガ北ニ進ンデ居リマス、何レハ米ノ方ガ美味ニキマッテ居リマスカラ、北ノ方ノ朝鮮人モ米ヲ餘計ニ食ベルヤウニナルデアラウト思ヒマス、ソレデ米ノ消費ト、粟ノ消費ハ只今ノ御話ノ如ク四斗何升、或ハ五斗ノ米ヲ消費シ、粟ノ方ハ三斗何升ノ粟ヲ消費スル、如何ニモ是ハオカシイヤウニ考ヘマスガ、朝鮮全體トシテ、詰リ粟ハ炊キマス何デモ倍ニナリマスサウデ、計算ハ倍ニシテ考ヘレバ宜イト云フコトデアリマス、六百八十萬石ノ粟ヲ倍ニシマシテ、米トシマシテ約千三百萬石ニ計算致シマシテ、サウシテ片方ノ米ヲ千百萬石加算致シマス、二千三百萬石ノ米ノ

量ニナルノデアリマシテ、ソレヲ人口二千百萬人ニ割當テマスレバ、ヤハリ米ヲ約一石幾ラ食ベル勘定ニナル譯デアリマス、但シ粟ノ方ガ値段ガ安イノデアリマスカラ、ドウシテモ其點カラモ粟ヲ食ヒマシテ、米ヲ多少食延バス譯デアアルト思ヒマス、ソコデ大臣カラ御話ノアリマシタ如ク從來ノ如ク、米ノミニ主力ヲ集中シテ、朝鮮人ノ食物ヲ顧ミナイ、隨テ内地ヘ賣ル爲ノミノ生産ニ力ヲ注グト云フコトハ、内地トノ關係上モ面白クナイシ、朝鮮自體ノ爲カラモ面白クナイ、斯ウ云フ關係カラ致シマシテ、只今ノ如ク畑作獎勵計畫ヲ立テタノデアリマス、而モ此畑作獎勵計畫ヲ立テマシタノハ昭和四年度カラ粟ノミノ改良増殖計畫ヲ立テマシタノデアリマス、其成績ガ相當良カッタモノデアリマスカラ、更ニ之ニ繼足シヲ致シマシテ麥、大豆等ノ獎勵ニ擴張致シタノデアリマス、昭和六年度ニ頭ヲ出シマシタ豫算ハ十萬八千圓ソコラデゴザイマスガ、朝鮮總督府ガ持ッテ居リマス、全體ノ計畫ハ、十二年計畫ト致シマシテ三百六十三萬八千圓ノ經費ヲ使フ積リデアリマス、何レ斯ウ云フコトガ著々成績ヲ擧ゲマスレバ、粟モ朝鮮ノミデ自給スルヤウニナリマセウシ、又米ノ生産ト云フモノモ或ル程度マデ「チエック」出來マセウト考ヘテ居

リマス

○東委員 大體私ノ拓務大臣ニ御伺シタノハ、此米穀法ノ施行如何ト云フコト、ソレカラ米穀法ノ運用宜シキヲ得セシムルニハ朝鮮米ノ統制ヲ斷ジテヤルヨリ外ニ途ガナイト云フコトヲ考ヘテ質問ヲ致シタノデアリマシタガ、考慮中、研究ヲスルト云フコトノ御答辯ヲ得タノデアリマスガ、先ヅ朝鮮カラ内地ニ來ル米ダケヲ全部米穀法ニ依ッテ彼處デ「チエック」スルト云フ方針ガ、米穀法ノ今後ノ日本ノ米價對策ノ骨子デアルト云フコトヲ質シ、私ハサウ云フ信念ヲ持ッテ居ッタノデアリマスガ、只今ノ御答辯デ大抵要ハ盡キテ居リマスガ、之ニ對スル施設ヲスルノニドレダケノ金ガ要ルカ、ドレダケノ設備ガ要ルカ、サウシテ總督府ト、農林、拓務省ノ關係ガドウ云フ風ニナツテ、是ガ實行出來ルカ否ヤト云フコトハ一ニ懸ッテ米穀法ノ今後ノ米價對策ニ極メテ重點デアルト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置キタイノデアリマスガ、此事ニ付テ何カ政府委員ノ方ニサウ云フヤウナ御考デ今日マデ調査シタコトガアリマス

ウナコトガ行ハレルモノデアルカ、行ハレナイモノデアルカ、又サウ云フコトヲヤルト云フコトニ付テ多少ノ計畫デモシタカ、或ハ調査デモシタカ、政府委員ノ御答ヲ願ヒタイ

計二千五百萬圓掛リ、經常費ハ事務費ガ五十二萬圓、サウスルト二千五百萬圓カラ三千萬圓以内デヤラレルノデア

レナカッタナラバ、米穀法案ハドンナニ考ヘテモ、ドンナ智慧ノアル人間ガ考ヘテモ鮮米ノコトヲ考ヘルヨリ外ニ途ガナイ、先ヅ私ハ米穀法ノ運用ノ過程ト致シマシテ之ヲ斷行スルコトガ最善ノ方法デアル、之ニ對シテ政府ハオ坐ナリノ答辯ヲスルト云フヤウナ考デナク、眞面目ニ私ノ考ヲ一ツ御調査ヲ願ッテ、八百萬石ヲ買フノニドレダケノ經費ガ要ル、ドウ云フ風ニ今後施設スレバヤレルカト云フヤウナコトノ立案ヲ一ツ御願ヲシテ置キタイト思ヒマス

○殖田政府委員 政府ト致シマシテ只今ノ御話ノコトヲ考ヘテ居ルカドウカト云フコトハ、私カラ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、朝鮮總督府ダケト致シマシテハ、米穀法ノ施行ヲ希望致シマシテ、ソレニ對シマシテ相當ノ計畫モ立テマスルシ、制度等モ研究致シマシテ、拓務省マデ申シ參ッタ事實ガゴザイマス

○東委員 私ハ茲ニ案ガーツアルノデアリマスガ、是ハ政府委員ノ御參考マデニ申上ゲテ置キマスガ、八百萬石政府ガ米ヲ朝鮮デ買上ゲルト云フコトニ對シマシテ、其經費ヲ大體政府ガ一切負擔スル場合ニ於テハ、臨時費トシテ事務所設備費ガ七十二萬六千圓、倉庫建設費ガ大體二千五百萬圓、經常費ガ事務費、事業費、借入金利子ト云フモノ

百萬石買ッタト言ヘバ、今日ノ相場ニシテモ直グ四千萬圓以上ハ掛ルノデアリマス、サウシテ外國ニ持ッテ行ッテ投賣スルト云フコトニナレバ、其損失ハ直ニ二千萬圓ナリ、二千五百萬圓ノ損失ニナルト云フコトハ明カデアル、大體朝鮮カラ入ル米ヲ八百萬石彼處デ政府ガ買取ッテシマウト云フ一大決心ノ下ニヤレバ四千萬圓カ五千萬圓ノ金デ出來ル、サウシテ是ガ全部無用ニナルノデナイ、棄テル金デナイ、米穀法ノ運用ニ依ッテ政府ガ米ヲ買ッテ、サウシテ海外ニ安ク賣ッテシマフト云フ溝ニ棄テルヤウナ金デナイ、是ハ皆固定資本ニナツテ、倉庫建築、其他ノモノニナツテ、サウシテ損ヲシナイ方針デ行ケル、サウスルト極メテ安イ金デ米ヲ買ッテ、米ノ價格ハ相當ニ維持スルコトガ出來ル、月別平均ニ賣ルコトモ出來ル、或ハ年ノ豐凶ニ依ッテ高ク賣ッテモ差支ナイ、或ハ安ク賣ッテモ差支ナイコトガアル、サウスルト朝鮮總督府トシテモ何モ朝鮮ノ產米ヲ安ク買フト云フノデナク、適當ナ時價ニ依ッテ内地ヘ持ッテ來テ投賣スルノヲ彼處デ買ッテヤルノデアアル、ダカラ此位名案ハナイト思フ、是ガ行ハ

○松田國務大臣 其點ニ付テハ篤ト調査致シマス

○東委員 先程内地米ノ輸出ニ付テ、私御尋ヲシタ時、農林大臣ガ色々御答辯下サイマシタガ、將來ハ十萬石乃至十五萬石位ハ年々出シテ行キタイト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ政府ノ持米ヲ御出シニナルト云フ譯デアリマスガ、ソレトハ別ニ内地カラ其位ハ出ス豫定ダト云フ御話デアリマスガハツキリシナカッタノデアリマスガ……

○町田國務大臣 アノ時私ハ答辯ノ中ニ入レテ置キマシタガ、法規ノ許ス範圍内デナケレバ餘程ヤリ惡イ點ガアリマス、此法規ハ需給關係ノ調節ヲ主トシタル米穀法デアリマスルカラ、内地

ノ供給ガ消費ト一致シテ居ル場合デ

ノ供給ガ消費ト一致シテ居ル場合デ

ヲ願ヒタイノデアリマス、私ノ考ノヤ

ガ事務所設備費ニ倉庫ノ建築費、之ガ

カ

ノ供給ガ消費ト一致シテ居ル場合デ

モ、常時的ニ輸出シテ見タイト云フ考
ガアリマス、イザト云ツテ非常ニ餘ッ
場合ニ海外ニ輸出スルニハ、平生宣傳
其他輸出先ノ食料ニ適スルカ否ヤヲ始
終試験サシテ、嗜好ヲ養フテ行カネバ
ラヌノデアリマスルガ故ニ、常ニ出シ
テ置クコトガ米穀對策トシテ結構ト思
ヒマスガ、此法律ノ範圍内ニ於テ直ニ
出來ルカ否ヤ多少ノ考慮ヲ要スル點ガ
アルノデアリマス、或ハ此ノ法律ヲ許
サストスレバ他ノ方法デ相當ノ經費ヲ
取ツテヤリタイト云フ意味デアリマス、
今日ハ供給ガ餘ッテ居リマスルガ故ニ
米穀法ノ範圍内ニ於テ之ヲ輸出スルコ
トハ出來マスガ、需給ノ關係ガ輸出ヲ
スル必要ガナイ場合ニモ、將來永イ計
畫カラ言ヘバ相當ノ數量ヲ輸出シタイ
ト云フ考ガアリマス、其點ガ果シテ米
穀法ノ範圍内デ行ケルカ否ヤガ多少ノ
考慮ヲ要スル點ト思ヒマスガ故ニ、私
ハ先刻、法規ノ許ス範圍内デ、ト云フ言
葉ヲ申シタノハソレデアッタノデアリ
マス、若シ此法律ノ範圍内デ出來ルト
致シマスレバ、常ニ十萬石乃至十五萬
石ハ出シタイ思ヒマス、若シ許サスト
スルト他ノ豫算ヲ別ニ取リマシテモヤ
リタイト考ヘテ居リマス

萬石ニナッテ居リマス、所ガ昨年ノ輸出
額ハ十萬石ヲ超シテ居リマス、昨年デ
サヘ十萬石外ヘ出テ居ルノニ、本年ノ
ヤウナ非常ナ過剩ノ場合ニ僅ニ六萬石
御見込ニナッタノハ是ハドウ云フ譯デ
アリマスカ

○石黒政府委員 私共ガ米穀ノ需給ノ
推算ヲ致ス際ニハ、可ナリ大事ヲ取ツテ
ヤリマス、ソコデ輸出高ハ、タシカニ
箇年度ノ平均デアリマシタカ、其處ニ
備考ヲ書イテ置キマシタト存ジマス
ガ、四年及五年ノ實績ヲ基礎トシテ見
積リマシタノデスガ、タシカ其二箇年
ノ平均デ出シテ居ッタカト承知シテ居
リマス

○東郷委員 サウシマスルト二箇年ト
申シマスルト四年度ハ非常ニ少クテ三
萬二千石位デスカラ其三萬二千石ト五
年ノ十萬石トヲ御平均ナサツタカラ非
常ニ少クナッタノデアリマセウガ、是カ
ラ考ヘマスルト、生産ノ非常ニ過剩ノ
場合ニ輸出ニ非常ニ力ヲ御盡シニナッ
テ、大イニヤラウト云フヤウナ意味ノ
御考ハナイ唯大事ヲ取ラレテ前二箇年
ノ平均カラ推算シタト云フコトニ承知
シテ宜イノデアリマスカ、此處ニハ何
等政策ハ籠ッテ居ラナイ、斯ウ云フ譯デ
アリマスカ

○石黒政府委員 輸出スル高ニ付キマ
シテハ、御話ノ通りノ額ヲ掲ゲマシタ
ノデアリマス、即チソレニハ輸出ヲ大
イニ今後ヤリタイ、只今大臣ガサウ云
フ抱負ヲ御述べニナリマシタガ、サウ
云フ希望ハ此中ニハ入ッテ居リマセヌ、
全ク此備考ニ書イテアリマスマウニ、
二箇年ノ實績ヲ基ト致シマシテ平均ヲ
出シマシタヤウナ次第デアリマス

○東郷委員 ソレデヤ他ノ問題ニ移リ
マスガ、先程農林大臣ノ御話デ、輸出ヲ
大イニヤル積リデ、政府ノ持米ヲ過般
來海外各地ニ輸出シテ居ル、既ニ今日
迄ニ七十萬石バカリニ達シテ居ルト云
フ御話デアリマスガ、私達ガ頂戴致シ
マシタ參考資料ニハ五十萬五千石ト云
フコトニナッテ居リマスカラ、其後殖エ
タ譯デスガ、ソレハ兎モ角ト致シマシ
テ、此頂戴シタ表ニハ、全數量ト輸出先
ハ世界各地ニ互ッテ居ルケレドモ、主ナ
ルモノハ歐羅巴、蘭領印度、印度ト支那
斯ウ云フ所ダト云フ事ダケシカ分ラナ
イノデアリマスガ、之ヲモウ少シ細カク
御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、ト云フ
ノハ其七十萬石ノ輸出米ハ之ヲ各產米
年度別ニシテ、サウシテ買入ノ時ハ幾
ラデ買ッテ今日マデノ諸掛リガ幾ラデ、
サウシテソレヲ幾ラニ賣ッタ、斯ウ云フ
事ヲ御示シテ願ヘレバ非常ニ宜イト思
ヒマス、ソレカラモウ一ツハ輸出先ハ
ドノ方面ニドレダケノ數量ガ行ッタト
云フ事ト、ソレカラ是ハ委託販賣デス

○東郷委員 ソコデ私御尋シタイノデ
スガ、御配付ニナリマシタ昭和六年度
ノ米穀需給ノ豫定表ニハ、輸出高ガ六
萬石ニナッテ居リマス、所ガ昨年ノ輸出
額ハ十萬石ヲ超シテ居リマス、昨年デ
サヘ十萬石外ヘ出テ居ルノニ、本年ノ
ヤウナ非常ナ過剩ノ場合ニ僅ニ六萬石
御見込ニナッタノハ是ハドウ云フ譯デ
アリマスカ

○東郷委員 ソレハ先程申シマシタヤ
ウニ、表ニシテ戴ケルコト、承知致シ
マスガ、其後ノ輸出先別ノ色々ノ數量
ハ此際少シ御面倒ノヤウナ御話デス
ガ、或ハ速記ニ留メナイデ、大體承ルト
云フヤウナ便法モアルト思ヒマスガ、

カラ、ドウ云フ者ニ委託シテ誰ガドレ
ダケノ數量ヲ取扱ッタ、斯ウ云フ事ヲ一
ツ、今直グ御説明願ヘヌカモ知レマセ
ヌガ、サウ云フモノヲ表デ御示ヲ願ヘ
レバ非常ニ都合ガ宜イト思ヒマス

○町田國務大臣 出來ルダケ御希望ニ
副フヤウニ早速差上ゲマス、唯一ツ御
諒解ヲ得テ置キタイコトハ、何人ヲシ
テ委託サセタカ、數量ハ幾ラデ何年前
ニ米ガドウデアルカ、從來其米ヲ幾ラ
ニ買ッテ、幾ラデヤッテ居ルカト云フコ
トノ大體ハ申スコトガ出來マスガ、此
點ダケハ暫ク御猶豫ヲ願ハレ、バ對策
ノ上カラ結構ダト思ヒマス、今賣ッテ居
ル米ガ幾ラデアルト云フ相場ハ大體ハ
申上ゲルコトハ出來マスガ、輸出先ノ
例ヘバ何處ノ地方ニ幾ラ行ッタト云フ
餘リ細カイ數字ハモウ少シ後ニ願ッ
方ガ此對策ヲ遂行シテ行ク上ニ甚ダ便
宜デアルト思フ、之ヲ餘リ詳シク此際
申上ゲルコトハ、色々ノ不便ヲ生ジハ
シナイカト云フ私ノ意味ハ大抵御諒察
下サルコトガ出來ヨウト思ヒマスガ、
大體ハ申上ゲルコトガ出來マス

何カ方法ハアリマスマイカ、ドノ方面ニドノ位行ッテ居ルト云フコトハ私共ノ參考ニナリマスカラ……

○町田國務大臣 出來ルダケ上ゲマス

ガ、輸出先ヲ一々詳シク申シテ其數量ヲ幾ラカト云フコトヲ今公ニスルコトハ、今後ノ輸出米ヲ一層増進シテ見タイト云フ計畫ノ上ニ種々ナル支障ヲ生ズル虞ガアルト云フ私ノ言葉ニ對シテ大抵東郷君始メ委員諸君モ御諒解ノ點ガアルト思ヒマスカラ、私ハ御諒解ヲ求メタノデアリマス、併シ努メテ御希望ニ副フヤウニ致シマスガ、今申ス事情ハ大抵御諒察下サルコト、存ジマス

○東郷委員 出來ルダケ御差支ナイ限

リ私共ノ諒解ガ出來ルヤウニ御示シヲ願ヒマス

○石黒政府委員 今ノ東郷サンノ御註

文ノ表デゴザイマスガ、全體ノ數量ヲ産米年度別ニ表ニ致シマシタモノ、是ハ差上グラレマス、唯何處ノ地方ニ何年ノ産米ヲ幾ラヤッタト云フヤウナコトハ是ハ只今農林大臣カラ御話ニナリマシタヤウニ此際暫ク御免除ヲ願ヒタ

イト思ヒマス、ソレハ大體新聞等デモ御承知下サッタコトガアルカト存ジマスガ、或國ナドデハ大分ソレテ以テ輸入禁止ヲスルト言ッタヤウナコトガヤカマシクナリマシタ爲ニ、其點ハ御示

シ申スコトヲ控ヘタイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ取扱商店ノ名前ハ是ハ無論申上ゲルコトガ出來マス

○東委員 一寸私聽漏シマシタガ、東

郷サンノ質問モ聽漏シマシタガ、私ナド外来ノ販賣方法ハ承ラヌデ宜シウゴザイマス、又輸出先モ必ズシモ歐羅巴ヘ幾ラトカ、支那ニ幾ラト云フコトモ聽カナクトモ宜シイガ、大體ノ見當ト云フヤウナ程度デ御話ニナッテモ宜カラウト思ヒマス、商機ニ差支ナイト云フ位ナ範圍ニ於テ吾々ニ諒解ヲ與ヘテ下サル、私共此點ヲ質問致シタイト考ヘテ居ッタノデアリマスガ、價格ナドモ極ク間違ノナイト云フヤウナ所ハ今御話ノ通り申サレヌコトカモ知レマセヌガ、此位ナ程度デアルト云フ位ナ臆氣ナ所デモ宜シイガ、多少吾々ハ「ヒン

ト」ヲ得レバ宜シイノデアリマスカラ、

其位ノ程度デ御答ハ願ハレヌノデセウカ、一寸關聯シテ御質問致シマス

○石黒政府委員 表デ申上ゲルコトニ

致シマスナラバ——ソレデハ速記ヲ中止シテ申上ゲルコトニ致シマス

〔速記中止〕

○東委員 大體御答辯ヲ得マシタガ、

歐羅巴ヘ相當ニ途ガ付イテ居ルノデハナイカト思フ、歐羅巴デハ大分米ノ需要ガアルコトハ分ッテ居リマスガ、日本米ハヤハリ嗜好ニ適シナイトカ、

或ハ粘著力ガ多クテ好マレナイトカ云フヤウナコトヲ從來屢、聞クノデアアルガ、各國共ニ皆ナ佛蘭西デモ、英國デモ百萬石、二百萬石ト云フ米ヲ輸入シテ

居ルノデスガ、此方面ニ輸出ヲシタ場

合ハ、大體徑路ガ出來テ居リマスガ、三井物産ナドガヤッテ居ルヤウデアリマスガ、是ニ向ッテ從來何カ新シク發見シタ途デモアルカ、又將來輸出ハ増加スルコトガ出來ル見込デアリマスガ、其點ヲ少シ御伺シタイ

○石黒政府委員 今ノ歐羅巴輸出ノ問

題デアリマスガ、最近相當ニ途ガ開ケテ來タヤウニ思ヒマス、サウシテ歐羅巴ニ於ケル日本米ノ嗜好如何ト云フ問題デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り明治二十三年マデハ日本米ガ輸出サレタ事情モズツ續イテ居ッタト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、其後全ク絶エテ居リマシタ爲ニ殆ド歐羅巴市場デ日本米ト云フモノヲ承知シテ居ラナイ、極メテ僅カ行ッテ居リマス、行ッテ居リマスモノハ、モウ定マッタ所ニ、定マッタ數量ガ行クト云フヤウナ調子デアリマシテ、一般ニ市場ノ商品トシテ大量

ニ考ヘルト云フコトハモウ長年絶エテ居ッタト云フヤウナコトカラ、今マデハ知ラナカッタ、ソレヲ今度相當ニ思切ッテ、見本ヲ一遍送ッテ見タ所ガ、ソレガ丁度西班牙ノ可ナリ良イ米ト同ジャウ

ニ見ラレルト云フ所カラ、相當ノ需要ハアルヤウデアリマス一寸速記ヲ止メテ……

○西村委員長 ソレデハ速記中止

〔速記中止〕

○東委員 色々御話ヲ伺ヒマシタガ、歐羅巴ニ入ル米ハ、兎ニ角歐羅巴ニ入ルトスレバ、米ノ價格ハ南洋米ヨリハ相當ニ高ク賣レルノデハナイカト思ッテ居ルノデアリマスガ、是ハ今マデノ經驗ニ依ッテ、價格ハ歐羅巴ニ行クノト、上海或ハ南洋、印度方面ニ行クノト大分違フダラウト思ヒマス、ソレ等ニ付テノハッキリシタ販賣價格ヲ聽クノデハナクテ、高イ安イト云フコトヲ聽ケバ宜イノデスガ、大分開キガアルト思フ、其方面ニ行ケバ運賃其他ヲ引イテモ相當ニ日本米ノ價值ト云フモノガ、追々生ジテ來ルノデハナイカト云フコトヲ私共ハ思ッテ居リマスガ、サウ云フコトモ尙ホ御參考ニ承レ、バ結構デアリマス、序ニ御説明ヲ願ヒタイノハ、暹羅ト合衆國トノ方面ハ通商條約デ自由ニハイルコトニナッテ居リマスガ、此方面カラハ米ハハイルヤウナ傾向ハアリマセヌカ、之ヲ併セテ伺ヒマス

○石黒政府委員 印度、印度支那、暹羅

邊ノ米ト日本ノ内地ノ米トガ、外國ニ於テ値開キハ只今ノ所澤山アリマセヌ、ソレハ只今申上ゲマシタヤウニ、マ

ダ日本米ノ特色ト云フモノヲ十分ニ認
メルダケニナツテ居ナイト云フ結果デ
ゴザイマス、ソコヲ常時輸出シテ置
カナケレバナラヌ一ツノ大キナ理由ダ
ト考ヘマス、ソレカラ暹羅トノ條約デ
アリマスガ……

○東委員 ソレハ宜シウゴザイマス、
米ガ暹羅ノ方カラ日本ヘ入ル傾向ガア
ルカドウカラ伺フノデス

○石黒政府委員 是ハ昨年モ外國米ノ
輸入ノ許可制限ヲ延長致シテ、今日マ
デヤツテ來テ居リマス、併ナガラ此許可
制限ニハ、今ノ御話ノ條約デ掛リマセ
ヌ、隨ヒマシテ昨年、一昨年ノ内地輸入
ノ外國米ノ、殆ド全部ガ暹羅米デア
ルト御覽下スツテモ宜シイノデアリマス

○西村委員 一寸此際念ノ爲ニ申上
ゲテ置キマス、先ノ石黒政府委員ノ御
發言中ノ前半ハ速記ニ載ツテ居リマス
ケレドモ、後半ハ速記ニ留メマセヌカ
ラ左様御承知ヲ願ヒマス

○東郷委員 只今ノ輸出米ノ事ハ、尙
ホ價格其他ノ問題ノ表ヲ御示ヲ願
上デ、御尋スルコトガアツタラ御尋スル
コトニシテ、保留致シテ置イテ次ニ移
リマス、只今ノ東君カラノ御尋ニ對シ
テ、政府委員ガ輸入米ノコトヲ御話ニ
ナリマシタガ、ソレニ關聯シテ居リマ
スカラ、一寸確メテ置キマス……

〔委員長退席 關矢理事著席〕

第五類第五號 米穀法中改正法律案(政府提出)外一件委員會議錄 第九回

昭和六年二月二十四日

一三

六年度ノ米穀需給推算ニ依ルト、輸
入高ガ二十五萬石ニナツテ居リマスガ、
是ハ「インタロダイション・マーク」ガ
附イテ居リマスカラ、大抵宜イ加減ノ
御推定カモ知レマセヌガ、二十五萬石
ノ輸入ニナツテ居リマス、所ガ今迄ノ輸
入高ヲ見マスルト、最近二三年ハ大抵
百二十萬石ニナツテ居リマス、而モ其
百二十萬石ノ輸入ハ暹羅ガ殆ド大部
分、ソレト合衆國、所謂條約關係ニ依
テ今度米穀法ヲ御改正ニナツテ、法律
ハハキリ輸入許可ノ制度ヲ御執リニナ
テモ、此法律ノ力ハ暹羅及合衆國ニハ
及バナイノデスカラ、結局必要ナ數量
デアアル、詰リ外國米ハ、説明スル迄モナ
ク今日ハ特別ナ目的ノ爲ニ輸入サレテ
居リマス、サウスルト、輸入高ハ二十五
萬石位ニ喰止メルコトノ目安ハ何處カ
ラ御取リニナツテ居リマス、是ダケ特
ニ非常ニ減ツテ居リマスカラ御尋致シ
マス

○石黒政府委員 御推察ノ通り二十五
萬石ニハ印ヲ附ケテ置キマシタヤウ
ニ、又附記ニ書イテアリマスヤウニ、百
萬石ヲ喰止メルヤウニ致シタイト云フ
考ヲ持チマシテ、タシカ第二回豫想ノ
後デ、需給推算ヲ取リマシテ、ソレヲ其
儘差上ゲタ譯デアリマス、御話ノ通り
ニ暹羅北米等ハ條約ノ關係上、輸入許
可ノ制限ニ掛ラヌノデアリマスガ、此
處ラ邊リカラ來ルコトハ相當アルト云
フコトモ想像シナケレバナラス、併ナ
ガラ斯様ナ年柄デアリマスカラ、輸入
許可制度ヲ現行米穀法ノ下ニ於テ更ニ
繼續ヲスル、内地ノミナラズ殖民地ニ
於キマシテモ繼續ヲ致シ、殊ニ先程拓
務當局カラ御話ノアリマシタヤウニ、
昨年アタリニ較ブレバ内地ト同ジ嚴重
サデ之ヲ實行シテ行クト云フ方針デ行
カレルノデアリマスカラ、隨テ内地ノ
ミナラズ、帝國全體トシテノ輸入高ガ
相當減ルダラウト思フ、茲ヘ二十五萬
石ト舉ゲマシタノハ、是ハ内地ダケノ
モノデアリマシテ、朝鮮ハ入ツテ居リマ
セヌ、之ヲ出シマシタノハ、百萬石ヲ減
ジテ行キタイト云フ考ヲ持チマシテ、
内地ノ許可ノ方モ十分嚴重ニ致シ、ソ
レカラ許可ニ掛ラヌモノニ對シマシテ
ハ、特ニ昨年末カラ關稅ヲ課ケル、此關
稅ハ條約ガアリマシテ制限ノ出來ルモ
ノニ對シテモ課カル、實ハ許可制限ヲ
ヤリマスモノニ對シマシテハ關稅ノ障
壁ハ高クスル必要ハナイガ、ソレデ止
マラヌモノニ對シテハ切メテモノ方法
トシテ關稅ノ障壁ヲ高クスル、斯ウ云
フ譯デアリマス、併シ百萬石ヲ防止メ
得テ、二十五萬石ニ止ルカ止ラヌカト
云フコトニ付テハ御話ノ通りニ可ナリ
是ハ疑問ガアリマス、疑問ガアリマス
ガ、一方先程御質問ニアリマシタヤウ
ニ、輸出高等ニ付テ相當裕リヲ取ツテ控
ヘ目ニ考ヘテ居リマスカラ、差引需給
ノ計算ハ茲ニ御覽ニ入レマシタヤウナ
數字ト大差ナクシテ行ケルノデハナカ
ラウカト考ヘテ居リマス

○東郷委員 御説明ガドウモマダ腑ニ
落チマセヌ、即チ昭和五年度ノ國別ノ
輸入額ヲ見マスルト、總額ガ百二十四
萬八千四百四十四石ニナツテ居ル、其中
デ暹羅ガ百二十二萬九千八百八十石デ
カラ殆ドモウ九分九厘ハ暹羅米デス

〔關矢理事退席 委員長復席〕

是ハ今度ノ法律ガ及ビ得ナイ所デア
リマス、結局今御話ノヤウニ今度關稅
ガ倍ニ上リマシタカラ、其關稅ノ力デ
以テ抑ヘルヨリ外ナイ、併シ其關稅ノ
力カ果シテドレダケ效果ガアルカト云
フコトニハ私共中々疑ガアルノミナラ
ズ、今言フヤウニ特殊ノ目的ノ爲ニ使
ハレルノデスカラ、ドウモ餘リサウ大
シテ效果ガナイノデハナイカ、私ハ六
年度ノ需給ノ推算ヲ僅ニ二十五萬石ト
御豫定ニナツタト云フコトノ不當デア
ルト云フコトヲ彼此レ申ス譯デハナ
イ、或ハ是ハ正當デアルカモ知レナイ
ガ、全體トシテハ需給ハ是デ行クト云
フ御話デスカラ、ソレデモ宜イガ、根本
ノ法律ヲ變ヘテ外米ヲ大ニ統制管理シ
ナケレバナラヌト云フコトハ米穀調查
會デ非常ニハ熱心ニ委員諸君モ主張

サレタモノデアリマス、ソレダケハ大抵ドノ委員モ異論ナク決マッタウナ問題デア、其意味ニ於テ今度改正ニナッタ、改正ニナッタガドウモ當分條約ノ期間ノ満ツルマデ數年ノ間殆ド日本ノ輸入ノ九分九厘ヲ占メテ居ル暹羅米、乃至合衆國米ニ大シタ效果ガナイト云フナラバ、此法律ノ改正ハ米穀調査會デ吾々ガ要望シテ居ル外米統制ノ機能ヲ發揮シ得ナイ、所謂是モ徹底シナイ改正デハナイカ、サウ云フ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ御尋シテ居ルノデアリマス

○石黒政府委員 米穀調査會ノ當時ニ於キマシテ外米ヲ出來ルダケ管理ヲシヨウト云フコトニ付テ色々御研究ニナツタノハ只今御話ノ通りデアリマス、其當時ニ於キマシテモ暹羅トノ條約ノ問題ハチヤント分ッテ居ルノデ、外務ノ當局ニモ來テ貰ヒマシテ話ヲ御聽キ下サツタノデアリマスガ、是ハドウモ期限ガ來ルマデ仕方ガナイ、出來ルダケノ協議ハシテ見ルケレドモ、致シ方ガアルマイト云フコトニナツテ居ルノデ、問題ハヤハリ是ハ期限ガ來テカラト云フコトデ、茲ニ許可ノ制度ヲ設ケテ居ル、ソレニハ條約ヲドウ斯ウスル譯ニ行カヌノデアリマスカラ、ソレハ但書デ除外シテ置ク、斯ウ云フ形式ヲ執ッタノデアリマス、ソレデ尙此點ニ關シテ一應申

上ゲテ置キタイト存ジマスノハ、御考ト同ジヤウニ外米ヲ適當ニ調節スル爲ニ出來ルダケ強イカデ以テ管理ヲスルノガ宜シイト云フコトハ考ヘマス、ソレデ經費ノ問題トモ關係スルコトデアリマスガ、經費ノ問題ニ關係シナイ制度ノ問題ヲ以テ之ヲ調節シ得ルヤウナ仕組ニシテ置クコトハ是非努メナケレバナラヌコト、考ヘルノデアリマス、ソレガアリマスガ故ニ、農林省ニ於キマシテ先年國際經濟會議——町田農林大臣ガ能ク御引用ニナルアル國際會議ノ時ニモ、重大ナル一問題ト致シマシテ、各國デ輸入ノ禁止制限ト云ッタヤウナモノヲ自分ノ事情デ以テ勝手ニヤルコトハイカヌ、斯様ナ事カラ、國際經濟會議デソレヲ廢止スルコト云フ國際條約ヲ結ブト云フ問題ニナツタノデアリマス、其時ニ我國ト致シマシテハ米ノ問題ハ入レルニシテモ出スニシテモ、是ハ特殊ニ考ヘナケレバイケナイ、國際條約ト云ッタヤウナモノ、下ニ束縛サレルト云フコトハ國情ガドウシテモ許サナイノデアアルト云フ風ニ、農林省ニ於テハ考ヘマシタ、ソレデ私共ト一緒ニ米穀ノ事ヲヤッテ居リマス荷見米穀課長ヲ隨員ノ一人ト致シマシテ隨分自由通商ノ說ヲ持ッテ居ル人ト爭ハレタノデアリマスガ、其結果遂ニ輸入禁止制限條約ニ付テハ日本ノ國ニ於

テハ、米ノ輸入ハ例外デア、斯ウ云フコトノ例外ヲ取り得タノデアリマシテ、其條約ハ御承知ノ通りニ昨年ノ一月一日ヨリ施行ニナツテ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ見方ニ依リマスレバ日本ノ米ト云フモノハ、モウ特殊ナモノデ非常ニ國トシテハ大事ナモノデア、アルカラ、國際條約デハ特別ニ見テ貴ハナケレバナラヌト云フ立場ニ立ッテ居ルノデアリマス、隨テ之ガ將來或ル國ト條約ト云フヤウナモノガ締結サレル場合、或ハ期限ガ來タ時ニ改訂ヲスルコト云フ場合ニハ、其國際條約デ認メラレタ例外ト致シマシテ、特殊ノ主張ヲ爲シ得ル素地ハ既ニ出來テ居ル、斯ウ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○東郷委員 サウシマスト要スルニ今度法律ノ條文ヲ御改正ニナルト云フコトハ、從來ヨリモ徹底的ニ外米ノ統制管理ヲスル爲デハナイ、從來ト同ジデア、ヤハリ暹羅ヤ合衆國米ハ條約ノ關係カラ當分ハ何等之ニ法律ノ力ハ及バナイノデアリマシテ、吾々米穀調査會デ答申シタ時ノ希望ヲ徹底スル迄ニ今度ハ經費ノ關係上行カナカッタト仰シヤル、其通りデアリマス、其通りデアラナラバ何モ是ダケノモノヲ法律ヲ改正シテ爲サル必要ハナイノデアリナイカ、米穀法ノ第二條ニチヤントソレト同ジ機能ヲ從來デモ與ヘテ居ルノデアリマス、勅令デアレバ出來ルノデアリマスカラ、今日態々此法律ヲ改正シテマデ之ヲ御ヤリニナルダケノ必要ガ何處ニアリマスカ、ソレヲ甚ダ疑問ニシテ居ルノデアリマス、第二條デ同ジヤウナ機能ガ發揮出來ルノヲ態々法律ヲ御改正ニナルノハドウ云フ譯デアリマス

○石黒政府委員 現行法ニ於キマスル輸入ノ制限ノ問題ハ法文ニモゴザイマスヤウニ極メテ臨時的ノモノデアリマシテ、期間ヲ指定ヲシテ其間ダケヤルト云フコトニ其都度々々勅令ヲ以テ是ハヤラナクテハナラヌト云フノデアリマス、今度ノヤウニナリマスレバ、國ガ當時ニ許可ヲヤルノデアリマスカラ、ソコニ於テ調節ヲ取ッテ行ク、斯ウ云フ制度ガ確立シタ譯デアリマス、唯例外デアリマスノハ、今尙ホ有効期間中デアリマス條約ヲ持ッテ居ル國ニ對シテハ、之ヲ實行スル譯ニ行カナイト云フコトガ例外ニナルダケナノデアリマス、是等モ其時期ガ來マスレバ適當ナル措置ガ執リ得ルダラウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、茲テ制度ハ全ク變ッタノデアリマス、尙ホ當時的ニ之ヲ許可制度ニ致シマス結果トシテ、從來ノ色々ナ例モゴザイマスガ、自由ニ致シテ置キマス爲ニ、或ル年度ニ於テ、實際ノ必要ヨリモ非常ニ多量ノ數量ヲ入

レテ置イテ外米ガ持越ニナツタ、或ハ必
要ノ爲ニ入レテ置イタモノヲ、外米ヲ
更ニ内地デ需要ガアルニ拘ラズ、上海
市場アタリノ値ガ好カッタ爲ニ、支那ニ
賣ラントシテ積出シタモノガアルト云
フヤウナコトニ對シテ、適當ナル調節
ヲ取ルコトガ出來ルヤウナ風ニ思フノ
デアリマス

○東郷委員 御説明デアリマスケレド
モ、大體ニ於テ其效力ニ於テハ大シタ
變化ハナイヤウニ思ヒマス、唯ハッキリ
當時的ニナツタト云フコトダケハ私モ
認メマスガ、是ハ此程度ニシテ置キマ
ス、農林大臣ハ御出デデアリマスカ
ラ

○西村委員 今呼ビニヤリマスカラ
一寸御待チ下サイ——農林大臣ハ衆議
院ノ本會議カラ貴族院ニ行カレルトノ
コトダガ、ドウデス、政府委員ニ對スル
質問ヲ先ニ願ヘマセヌカ

○東郷委員 大臣ノ責任アル御答辯ヲ
聽キタイノデス

○西村委員長 ソレデハ四時マデ休憩
シマセウ

午後三時五十分休憩

午後四時二十七分開議

○西村委員長 休憩前ニ引續イテ會議
ヲ開キマス

○東郷委員 昨日デアリマシタカ、農
林大臣ガ御話ノ中ニ、最近ノ米ノ應急

的對策ノ一ツトシテ農業倉庫ノ利用ニ
付テノ御話モアリマシタガ、丁度私モ
此問題ハ少シ御尋シテ置キタイと思
テ居ッタ所デスカラ、御同致シマス、米
穀調查會ノ答申ノ第二項ニモ、農業倉
庫ヲ獎勵シテ之ニ低利資金ヲ融通スル
コト、斯ウ云フ答申ガアリマス、私ノ考
ヲ遺憾ナク、無遠慮ニ申上グレバ、我國
ノ所謂農民ガ色々ノ意味ニ於テモット
發達シテ居ッタナラバ、米ノ調節ト云フ
コトハ農家自體ノ經濟的施設——無論
之ニハ政府ガ非常ナ援助ヲシナケレバ
ナリマセヌガ、農家自體ノ經濟的施設
ニ依ッテ相當ナ調節ガ出來ルト思ヒマ
ス、殊ニ出來秋ノ市場殺到ヲ防止スル
意味ニ於テハ、農業倉庫ヲ利用シテ、サ
ウシテ之ニ低利資金ノ融通ヲシ、生産
者タル農家ガ協同デ米價ヲ統制シテ行
クト云ッタヤウナコトガ出來得ルト思
ヒマス、又此處マデ進ムト云フコトガ
理想デアルト思フノデアリマス、ソコ
デ私自身モ其意味ニ於テ昨日モ申上ゲ
マシタガ、米穀調查會ニ於テモ、内地米
ニ對スル施設トシテハ、之ヲヤラナケ
レバナラヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ
ノデアリマス、是ハ米穀法ヲ離レテ、所
謂米價調節、米價對策ノ一ツノ重要ナ
施設ト思フノデアリマス、ソコガ調査
會ニ於テモ是ガ重要ナ要項トナッテ答
申ニモ現ハレタ譯デアリマスガ、昨日

農林大臣ノ御話ノ中ニモ、近頃米穀ノ
應急資金ヲ貸出シテ、農家ニ自ラ糶米
ノ貯藏ヲセシメテ居ルト云フコトハ、
此趣旨ニ合ッテ居ルト云フヤウナ意味
ノ御話モアッタと思ヒマスガ、是ハ併シ
目下ノ非常ナ豐作ニ對スル應急ノ施設
デアッテ、當時的ニ此重要ナ施設ヲ現内
閣ガ特ニ目論マレテ、サウシテ行カレ
タト云フ跡ハナイヤウニ思ヒマス、ソ
コデ私御同致シタイノデアリマスガ、
米穀調查會等ニアレ程此農業倉庫ノ獎
勵ガ、米價調節ノ上ニ於テ重要ナル施
設デアルト云フコトヲ論議サレ、答申
サレタニ拘ラズ、特ニ此點ニ於テ何等
ノ御施設ガ無イノハドウ云フ譯デア
ルカ、先ヅソレヲ承リタイと思ヒマス

○町田國務大臣 御尋ノ趣意ガ私ニハ
十分了解ガ出來ナカッタカモ知レマセ
ヌガ、御趣意ハ大抵斯ウ云フコトデア
ラウト思ッテ御答ヲシマス、若シ御尋
ノ趣意ニ副ハナカッタナラバ、モウ一應御
繰返シヲ願フコト、致シマス、私共モ
相成ベクハ米穀法ヲ運用シテ、サナキ
ダニ乏シキヲ常ニ感ジ易イ特別會計ニ
依ッテヤルヨリモ、農家ノ自力、農家ノ
責任ヲ主トシテ需給ヲ調節スル方ニ次
第二農民ノ考ヲ持ッテ行キタイト云フ
考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテ現
在ノ農業倉庫ノ普及ニ對シテハ、從來
相當ナ施設ヲ致シテ居リマス、私カラ

申上グルマデモナク、御承知ノ答デア
リマスガ、現ニ産業組合、農會、或ハ町
村自體ト云フヤウナ經營ノ主體ガ殆ド
三千バカリアリマシテ、米ノ收容量ガ
——御承知ノ通り米、藁其他ノ物モア
リマスガ、主トシテ穀物ノ收容量、千五
百二十六萬俵ニ達スルヤウナコトデア
ッテ、ザット六百萬石位ノ米ヲ貯藏スル
コトガ出來ルマデニ發達シテ來マシ
タ、併シ御承知ノ通り從來ハ此倉庫ヲ
利用スル者ガ、大地主ナドノ利用シテ
居ル部分モ相當多イノデアリマスガ、
是モ亦必要デアリマセウシ、出來ルナ
ラバ農會等ノ指導ニ依ッテ、東郷君ノ御
意見書ニアルガ如ク、端境期マデ自ラ
之ヲ幾分貯藏サセルト云フコトガ、自
ラ市場ニ殺到スル米穀ノ分量ヲ少クシ
テ、之ニ依ッテ價格ノ維持ガ保タレト
云フ、其趣意ハ御同感デアリマス、今日
ハ其趣意デヤッテ居ラヌカノ如キ御尋
デアリマスガ、私ノ知ル所デハ、從來モ
信用組合等ニ依ッテ相當ヤッテ居ルコト
ト承知致シテ居リマス、併シ徹底的ニ
ハ參ッテ居リマセヌ、今年端境期マデ三
千萬圓ヲ出シテ、玄米トシテ二百三十
萬石ヲ貯藏サセルト云フコトハ、此度
初テノ試ミデアリマス、ソレカラモウ
少シ進ンデ、互ニ研究シテ見マスト、低
利資金ヲ融通シタダケデ、果シテ端境
期マデズット農業倉庫ヲ利用シテ、農家

ガ持チ耐ヘテ居ルカ否ヤニ對シテハ、相當又疑問モアリマス、之ヲ徹底的ニ致ス爲ニ、今考慮シテ居リマスノハ、若シ米穀法ノ範圍内デ出來レバ結構デアルト思ヒマスガ、如何ニモ米穀法ノ法文カラ見マシテハ面倒デアリマス故ニ、何カ低利資金以外ニ相當ナ獎勵金ヲ與ヘテヤルコトガ、或ハモット徹底的ニ參ルノデハアルマイカト折角考慮デアリマス、併シ是ハ相當ナ豫算ガ伴ヒマス、併シ此豫算ヲ獎勵金トシテ與ヘマシテモ、之ニ依ッテ國家ガ買上ゲル米穀ノ分量ヲ減シテモ、調節ガ出來ルト云フ見据ガ付キマス、國家經濟ノ上、財政ノ上カラ見マシテモ、相當ナ獎勵金ヲ與ヘタ方ガ效果ガアルト同時ニ、國庫ニ及ボス所ノ負擔ガ或ハ少クテ濟ミハセヌカ、併シ御趣意ノ農業倉庫ヲ利用シテ低利資金ヲ普及セシメル趣意ハ、御同感デアリマスシ、今後ハ出來ルデケ之ヲ努メルト云フコトハ、明カニ申上ゲテ宜シイト思ヒマス	由書ニモ書イテアルヤウニ、單リ米穀法ノ運用ノミニ俟ッベキモノデナイ、生産者ヲシテ自治的ニ云々ト云フコトガ書イテアリマスガ、其通りデアリスカラ、是ハ米穀法ヲ離レテ特別ニ之ニ對スル政府ノ積極的施設ヲ米穀調查會トシテ要望シタモノト解釋シナケレバナリマセヌ、只今三千萬圓ノ米穀資金ヲ融通シテ、端境期マデ農家自ラ貯藏セシムル方法ヲ遂行シツ、アルコトハ、此間モ御聞キシタ通りデアリマシテ、ソレガドノ程度マデ成績ガ擧ッテ居ルカハ別問題トシテ、サウ云フコトヲヤツテ居ル、併シ是ハ所謂應急的ノ施設デアツテ、此金デ以テ新シク農業倉庫ヲ作ル意味ハナイ、詰リ農家ガ或ハ自己ノ倉庫ナリ其他色々ノ現在アルモノニ貯藏スル、斯ウ云フ意味デ行ッテ居ルノデ、全然是トハ性質ガ違ッテ居ル應急的ノ施設デアルト思ヒマス、デアルカラ是ハ別ニ考ヘナケレバナラヌ、デ本當ニ常時的ニ米ノ出廻リヲ調節スルニハ、モット積極的ニ農業倉庫ヲ中心トシタ所ノ經濟的施設ニ御進ミニナルベキガ當然デアリ、又當局モサウ云フ考ヲ持ッテ居ル、現在ハソレガナイ、斯ウ云フコトダケノコトノヤウニ拜承致シマス	同感デアルト思ヒマスガ、是ガ完全ニ普及シ、完全ニ行ハレルモノデアッタナラバ、米穀法ノ如キモノガ出動シテ米ヲ買フ必要ガナクナル、斯ウ云フコトガ理想的ノ最後ノ結論ダラウト思ヒマス、所ガ中々農業倉庫ガ旨ク行カナイ、現在及ビ過去ニ於テノ御經驗カラ言ヘバ、趣旨ハ宜イガ旨ク行カナイ、斯ウ云フコトデアアルゾデヤナイカト思フノデス、倉庫ノ數ガ殖エタ、其處ヘ貯藏スル穀物ノ數量ハ殖エタトシテモ、其成績其他ニ於テ遺憾ナ點ガ多イノデヤナイカト私ハ考ヘルノデスガ、此過去ノ成績ナリ現在ノ成績ナリハ、將來ノ施設ニ取ッテモ大ニ考慮シナケレバナラナイ關係モアリマス、ソコデ私ハ是ハ事務的ノコトデスカラ、政府委員ニ御伺致シマスガ、過去及ビ現在ニ於テノ農業倉庫ノ成績、數字のノコトハ先程表デ以テ御示ヲ願ッテ置キマシタカラ、明日デモ頂戴出來マセウガ、サウ云フ數字のノ成績デナク、實際經營ノ上ニ於テ、私達ガ目的ヲ達スルヤウナ意味ニ旨ク今日行ッテ居ナイカ、行ッテ居ナケレバソレハドウ云フ譯デアルカ、又將來ハ其イカナイコトヲ努力スレバ、立派ニヤッテ行ッテ、吾々ノ目的ヲ達シ得ル見込ガアルダラウカ、斯ウ云フコトヲ一ツ政府委員カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス	○東郷委員 農林大臣ノ御答辯ノ趣旨ハ分リマシタガ、私ノ申上ゲルノハ、無論從來農林省ニ於テモ農業倉庫ノ増設普及ヲ御獎勵ニナッテ居ルコトモ知ッテ居リマス、併ナガラ現在ノヤリ方デハ米ノ調節ノ目的ヲ達スルニハ、極メテ是ハ米穀法ト切離シテ、即チ答申シ理	先程申シマシタヤウニ、農林大臣モ御	同感デアルト思ヒマスガ、是ガ完全ニ普及シ、完全ニ行ハレルモノデアッタナラバ、米穀法ノ如キモノガ出動シテ米ヲ買フ必要ガナクナル、斯ウ云フコトガ理想的ノ最後ノ結論ダラウト思ヒマス、所ガ中々農業倉庫ガ旨ク行カナイ、現在及ビ過去ニ於テノ御經驗カラ言ヘバ、趣旨ハ宜イガ旨ク行カナイ、斯ウ云フコトデアアルゾデヤナイカト思フノデス、倉庫ノ數ガ殖エタ、其處ヘ貯藏スル穀物ノ數量ハ殖エタトシテモ、其成績其他ニ於テ遺憾ナ點ガ多イノデヤナイカト私ハ考ヘルノデスガ、此過去ノ成績ナリ現在ノ成績ナリハ、將來ノ施設ニ取ッテモ大ニ考慮シナケレバナラナイ關係モアリマス、ソコデ私ハ是ハ事務的ノコトデスカラ、政府委員ニ御伺致シマスガ、過去及ビ現在ニ於テノ農業倉庫ノ成績、數字のノコトハ先程表デ以テ御示ヲ願ッテ置キマシタカラ、明日デモ頂戴出來マセウガ、サウ云フ數字のノ成績デナク、實際經營ノ上ニ於テ、私達ガ目的ヲ達スルヤウナ意味ニ旨ク今日行ッテ居ナイカ、行ッテ居ナケレバソレハドウ云フ譯デアルカ、又將來ハ其イカナイコトヲ努力スレバ、立派ニヤッテ行ッテ、吾々ノ目的ヲ達シ得ル見込ガアルダラウカ、斯ウ云フコトヲ一ツ政府委員カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス	只今大臣カラ仰シヤッタヤウニ三千萬	○石黑政府委員 御質問ノ初ノ部分デアリマスル米穀調查會ニ於キマシテノ審議竝ニ答申ノ中ニ、農業倉庫ヲ獎勵ヲシテ、且ツ之ニ低利資金ヲ融通シテ、自治的ニ米價ノ調節ヲナサシメルヤウニト云フコトガゴザイマシタノハ、御話ノ通りデアリマシテ、是等ノ獎勵ノ方ハ只今從來ノ獎勵方針ヲ踏襲ヲ致シマシテヤッテ居リマスル上ニ、更ニ新シク大ナル力ヲ加ヘタト云フコトハ今年度ニ於テハ現ハレテ居リマセヌ、併シ從來ノ通りノ計畫ヲ踏襲シテヤッテ來テ居リマス、昭和四年ト五年ヲ比較致シマスルト、五年ノ中ニ於キマシテ、農業倉庫ノ建坪ガ約二萬一千坪バカリノ増加ヲシテ居ルノデアリマス、其合計ガ只今倉庫坪數ガ二十二萬七千坪ト云フコトニナッテ居リマスガ、其中ノ二萬一千坪バカリガ五年度ニ於テ増加ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ色々物價等ノ關係カラモ影響シテ來テ居ルコト、存ジマスガ、比較的近年ニ於キマシテ大キナ擴張ニナッテ居ルノデアリマス、政府ハ財政上サウ倉庫ノ建設費ノ補助ヲ増加ヲ致スト云フコトガ出來ナカッタノヲ遺憾ニ存ジマスケレドモ、幸ニ斯様ナ成績ヲ示シテ居ルノデアリマス、ソレニ共ニ遺ルヤウニト云フ答申ノアリマシタ低利資金ノ融通ノ方ハ、只今大臣カラ仰シヤッタヤウニ三千萬
---	--	---	--	--------------------------	---	--------------------------	---

圓ノ融通ヲ致シマシタノデ、是ハ農業倉庫ニ入レマシタ米ノ證券ヲ擔保ニ取ルト云フヤウナヤリ方ヲ以テ融通ヲ致シマスノヲ、大體ノ方針トシテ居ルノデアリマスカラ、答申ノ一部ニ確ニ該當シテ居ルモノデアアル、斯ウ考ヘルノデアリマス

ソレカラ御尋ノ後ノ部分デアリマスル農業倉庫ノ經營ガ、事實如何デアアルカト云フコトノ御質問デアリマスガ、是ハ旨ク行ッテ居ル所ハ隨分好イ成績ヲ示シテ居ル所モアリマスガ、多數ノ倉庫ノ中ニ於キマシテハ私共マダ甚ダ其使用ガ不十分デアアルト感ジテ居ルモノモ少クナイノヲ遺憾ト致シテ居リマス、併シ段々ト是ガ慣レマスルト云フト、今マデ餘リ使ハナカッタガ、使フコトニナッタト云フヤウナ實例ガ宮城縣アタリニモアッタヤウニ記憶ヲ致シテ居ルノデアリマス、經營ノ方ノ指導ハ只今ノ所ニ於テ稍、手薄ナ感ジヲ私共自ラシテ居リマス、此ノ方ニ於テ將來ハ經營ノ指導ニ付テ施設ヲモット進ンデシナケレバイカスト考ヘテ居リマス

建設ノ規模及ビ場所ノ問題ガ同時ニ農業倉庫トシテハ考ヘナケレバナラス問題ダト思ッテ居リマス、農業倉庫ハ御承知ノ通りニ、大正六年頃カラ段々ト建設サレテ來タノデアリマスガ、其初

ニ當リマシテ建設ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテハ、範圍ガ極メテ小サイ所

ニ小サナ倉庫ヲ拵ヘタト云フヤウナ時代ガ多カッタ、只今ニナッテ參リマス、ドウモヤハリ相當ノ範圍ヲ支配シ得ル相當ノ規模ヲ持ッタモノデナケレバ、經營上困難ヲ生ズルヤウニ思ヒマス、機能ガ十分デナイト思ヒマスカラ、段々サウ云フ風ナ方針ヲ以テ建設ノ獎勵ヲ致シテ居リマス、併シ初ノ時代ニ於テ出來マシタモノガ相當アルノデアリマスカラ、ソレ等ノモノガマダ建ッテ居ル

ノガ將來整理ヲ要スルコトニナルノヂヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ農業倉庫ノ聯合倉庫ト云フモノヲ認メルト云フコトヲ、先年法律ノ改正ヲ致シテヤッタノデアリマス、是ハ可ナリ大都市ニ於キマシテ、米穀取引所側ノ反對的ノ注目ガアッテ、其當時ニ於キマシテ聯合農業倉庫ノ方ノ獎勵金ヲ特別ニ取ッテ居ラナカッタノデアリマスガ、先ヅ法律ヲ改正致シテ、之ヲ組織シ得ルコトニ致シテ、法律改正ダケデ以テ先ヅ進ミマシテ、然ル後ニ漸次ニ其建設ニ對シテ獎勵金ヲ交付シテ、實現ヲシテ行カウト云フ方針ヲ執ッタ

ノデアリマス、故ニ聯合農業倉庫ノ方ハ極メテ發達ガ新シイ、昭和二年以來ノコトデアリマスガ、今日ニ於テハ倉庫ノ數ガ六ツデアリマシテ、建坪ガ二

千五百坪バカリニナッテ居ルヤウニ思ヒマス、東京ノ商人等ハ相當之ニ對シテハ敏感デ注意ヲ拂ッテ居ルノデアリマスガ、震災後東京ノ米倉庫ノ甚ダ缺乏シテ居ッタ時ニ、建設ヲ致シマシタ秋田縣デアルトカ、新潟縣デアルトカ云フヤウナ縣ノ農業倉庫ガ東京市内ニ於テ、漸次ニ地歩ヲ固メテ參リマシテ、今日相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ル聯合農業倉庫トナッテ來タノデアリマス、斯ウ云フ聯合農業倉庫ガ都會マデ農民ノ手デ米ヲ送出スコトガ出來ルヤウニナッタ

コトハ、是ハ相當ノ發達デアルト認メテ宜カラウト思フノデアリマス、此發達ヲ端緒ト致シマシテ、將來益々直接ニ大消費地ニ米ヲ販賣致シテ、サウシテ所謂全市價——フル・マーケット・ブラ

イス」ヲ農民ノ懷中ニ收メヨウト云フ運動ノ端緒ニナルト考ヘテ居リマス

ガ、關西及ビ關東ニ於テ、農業倉庫ノ聯合協會ト云フモノガ出來マシテ、是等ガ相集ッテ更ニ全國ノ販賣組合ノ聯合會ヲ拵ヘヨウト云フ下準備ヲ既ニ著手致シタト云フヤウナコトニナッテ來テ居リマス、デ個々ノ農業倉庫ノ經營ヲ十分ニ指導シテ、改善シテ行クコトハ無論是非シナケレバナラスコト、考ヘ

マスガ、ソレト同時ニ斯様ナ都會ニ頭ヲ出シタト云フ事實ガ、農業倉庫自體ノ運動ヲ十分ニ有意義ニ發展シテ行

ク本ニナルト考ヘテ居リマ

○東郷委員 政府委員ノ御説明ニ依リマス、中々農業倉庫ノ成績モサウ全部ガ良イトハ言ヘナイヤウデアリマス、多數ノ倉庫ハ餘程困難ガアルラシイ、是ハ當然ナコトダト思ヒマス、長イ間内地デヤッテ居ラレル倉庫デサヘ、餘程其經營ヲ圓滑ニシテ行クニハ骨ガ折レルノデアリマス、一寸脇道ニ入りマスケレドモ、御意見ヲ承ッテ見タイト思フコトハ、昨日來朝鮮ノ米ガ内地ニ一時ニ殺到スルコトヲ調節スル、所謂月別平均デ入レルト云フコトノ唯一ノ方法トシテ、此倉庫デヤラウト云フ御計畫ニナッテ居ルコトハ、申上グルマデモアリマセスガ、私非常ニ懸念致シマス

コトハ、私自身ガ先程申シマスヤウニ、農業倉庫ヲ中心トシ、及ビ農家自體ノ經濟的施設デ以テ自ラ調節シテ行クト云フコトマデ進マナケレバナラスト云

フコトデアリマスケレドモ、是ハ内地デサヘ中々容易デナイ、況ヤ朝鮮デ農業倉庫ニ依ッテ内地ニ殺到スル米ノ調節ガ、本當ニ理想的ニ出來ルガドウカト云フコトニ付テハ、私ハ今非常ニ懸念ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、農林當局ハ受身ニナッテ御考ニナラナケレバナラス立場デアリマスガ、現在總督府デヤッテ居ルアノ農業倉庫ノ程度、ソレカラ從來内地ニ於ケル農業倉庫經營ニ

關スル御經驗等カラ御考ニナッテ、アレ
デ旨ク行クモノデセウカ、御意見ヲ承
リタイト思ヒマス

○石黒政府委員 新シイ事業デアリマ
スカラ相當ノ困難ハ無論アラウト思ヒ
マスクレドモ、併シ朝鮮ノ事情ハ、ドウ
モ私一度モ朝鮮へ行ッテ見タコトガナ
イノデアリマスカラ、何トモ申上ゲ兼
ネル次第デアリマス、若シ御必要ガゴ
ザイマシタナラバ、拓務省ノ者ヲ呼ビ
マシテ答ヘサセタイト思ヒマス

○東郷委員 今ハ拓務省ノ方ガ御見エ
ニナラヌカラ、必要ガアレバ他ノ機會
ニ御尋致シマス、内地ニ於テ農業倉庫
ヲ普及シテ行クト云フコトハ、無論必
要ナコトデアリ、又シナクテハナラヌ
コト、思ヒマスガ、併シ現在ニ於テ米
穀調査會等ノ答申ニ基キテ、積極的ノ

施設ヲ御ヤリニナッテ居ナイコトハ明
カデアリマスガ、中々農家ニ農業倉庫
ヲ獎勵シテ行クトダケデハ、急ニ迫
ッテ居ル出來秋ノ殺到ヲ調節スル目的
ヲ達シ得ナイト思ヒマス、ソコデ之ト
相提携シテ行クベキ一ツノ施設トシ
テ、私調査會ニ意見ヲ出シテ置キマシ
タガ、政府ガ生産者カラ米乃至ハ粃ヲ
一定ノ數量ヲ限ッテ、所謂一時預リヲシ
テ、ソレニ對シテ低利資金ヲ融通シ、又
必要ガアレバソレニ對シテ何カ獎勵金
デモ交付スルト云ッタ方法ヲ御執リニ

ナル必要ガアルト思ヒマス、是ハ昨日
モ申上ゲマシタガ、米穀調査會ニ於テ、
他ノドノ委員カラモサウ云フ意見ハ出
マセンデシタガ、是ハ非常ニ几帳面ニ

農業倉庫ヲ造ッテ、大イニヤルト云フヤ
ウナ方法デナク、極ク簡單ナ方法デヤ
リ得ルト思ヒマス、現ニ政府ガ今回應
急手段トシテ五百萬石位ノ農家自ラノ
貯藏獎勵ヲナサル御計畫カラ見テモ、
私ハ斯ウ云フコトハ出來得ルト思ヒマ
ス、必ズシモ農業倉庫デナクテモ宜イ、
個人ノ倉々デモ宜イ、何カ自ラ適當ナ
貯藏ノ設備ガアレバ、ソレニ對シテ今
言ッテヤウナ方法デヤッテ行クト云フコ
トガ出來得ルト思ヒマスガ、斯ウ云フ
コトニ對シテドウ云フ御意見デアリマ
セウカ、伺ッテ置キタイト思ヒマス

○町田國務大臣 先刻申シマシタ通
リ、大體御同感デアリマスノミナラズ、
此度ノ應急施設ニ對シマシテハ、斯ル
大豐作ノ際ハ、國家モ米穀法ヲ運用致
スコトハ勿論デアルガ、農家自身モ例
年ヨリ多ク穫レタモノ、一部分ヲ自ラ
備考貯蓄ノ意味ヲ加味シテ、萬一本年
不作デアッタ時ニハ困ルト云フコトニ
農家ガ思ヒヲ及ボシテ、農家ノ自力デ
ヤラシテ見タイ、併シ是ハ非常ニ暴落
シタ米價デアリマスカラ、一家經濟ノ
上ニ於テハ收穫ガ増シタヨリモ米價ノ
安クナッタ爲ニ困難シテ居ル事情ハ、能

ク諒解シテ居ルノデアリマスカラ、只
デハイカヌ、茲ニ低利資金ヲ供給シテ
差當リ粃デ四百六十萬石ト云フモノ
ヲ、應急的ナ施設トシテヤッテ居ルノデ
アリマス、此應急的施設ハ、東郷君ノ御
話ノ如ク、今後ハ一變シテ常設的ノ施
設トシテ、之ヲ普及セシムルコトニ努
力スルコトハ勿論デアリマス、更ニ内
輪ノコトヲ申上ゲルノモドウカト思ヒ
マスルガ、何トカシテ此供給過多ノ場
合ニ、ソレニ依ッテ生ズル米價ノ下落ヲ
防ギタイト云フ點カラ、或ハ米穀法ノ
中ニ多少ノ獎勵金ヲ與ヘル財源ヲ、特
別會計ニ得ル方法ガアルマイカト云フ
コトモ相當考慮シテ見タノデス、實ハ
是デヤリマス、國家ガ買ッテ非常ナ損
ヲスルヨリハ、經濟上財政上カラ考ヘ
テモ宜サ、ウニ考ヘマシタガ、ドウモ
此米穀法ノ特別資金——獎勵金ヲ與ヘ
ルト云フ——初カラ損ヲスルト云フコ
トニ特別會計ハ持ッテ行クトハ、少々
困難ヲ感ジタノデアリマス、故ニ今後
ハ低利資金ヲ出來ルダケ多ク與ヘテ、
農業倉庫ヲ利用スルコトハ勿論、更ニ
進ンデ一石ニ對シテ二圓トカ、一圓ト
カ何等カ底利資金以外ニモ獎勵金ヲ與
ヘテ、農家ノ自力ニ依ッテ調節スルト云
フ氣風ヲ一層増シテ行キタイト思ヒマ
ス、當年ハ何等此答申ニ基ク低利資金
ハ與ヘテ居ラヌデヤナイカト云フヤウ

ナ意味ノ御尋デアリマシタガ、色々低
利資金ノ供給ヲ得ルト云フコトニ對シ
テモ努力ヲ致シマシタガ、遺憾ナガラ
預金部ガ餘程窮乏シテ居ル現狀デアリ
マス、農林省ニ於キマシテ昨年一年ノ
間ニ、普通低利資金以外ニ一億六千五
百萬圓ト云フ特別ナ低利資金ヲ得ルコ
トニ對シテモ微力ナガラ私共ハ相當骨
ガ折レタノデアリマス、今ノ現狀デハ
預金部ニハ低利資金ガ涸渴シテ居ルト
云フ事情ノ下ニ在リマスカラ、是レ以
上ハ參ラナカッタノデアリマス、併シ今
後預金部ノ資金運用モ一層改善サル、
コト、思ヒマスルカラ、米穀調査會ノ
答申ニ基キタ低利資金ニ依ッテ、農家自
力ニ依ッテ貯藏セシムルト云フ此美風
ハ、カラ極メテ努力シ獎勵シタイ、私モ
米穀法ノ運用ヲ幾分力之ニ依ッテ減ジ
得ラル、コト、確信シテ居リマスルカ
ラ、御趣意ハ至極御同感デアリマス、左
様ニ努力致スコトヲ茲ニ明言シテ御答
ヘ致シマス

○東郷委員 農林大臣モ私ノ申上ゲマ
シタヤウナ意味ノ、經濟的施設ガ必要
デアルト云フコトヲ御認ニナッタヤウ
デアリマスガ、私ハ斯ウ云ッタヤウナコ
トニ、寧ロ非常ナ努力ヲナサルト云フ
コトガ必要ダト思ヒマス、唯農林大
臣ガ度々最近豐作ノ爲ニ農村ガ惱ム、
其爲ニ或ハ町村長ダトカ、或ハ農會代

ナ意味ノ御尋デアリマシタガ、色々低
利資金ノ供給ヲ得ルト云フコトニ對シ
テモ努力ヲ致シマシタガ、遺憾ナガラ
預金部ガ餘程窮乏シテ居ル現狀デアリ
マス、農林省ニ於キマシテ昨年一年ノ
間ニ、普通低利資金以外ニ一億六千五
百萬圓ト云フ特別ナ低利資金ヲ得ルコ
トニ對シテモ微力ナガラ私共ハ相當骨
ガ折レタノデアリマス、今ノ現狀デハ
預金部ニハ低利資金ガ涸渴シテ居ルト
云フ事情ノ下ニ在リマスカラ、是レ以
上ハ參ラナカッタノデアリマス、併シ今
後預金部ノ資金運用モ一層改善サル、
コト、思ヒマスルカラ、米穀調査會ノ
答申ニ基キタ低利資金ニ依ッテ、農家自
力ニ依ッテ貯藏セシムルト云フ此美風
ハ、カラ極メテ努力シ獎勵シタイ、私モ
米穀法ノ運用ヲ幾分力之ニ依ッテ減ジ
得ラル、コト、確信シテ居リマスルカ
ラ、御趣意ハ至極御同感デアリマス、左
様ニ努力致スコトヲ茲ニ明言シテ御答
ヘ致シマス

○東郷委員 農林大臣モ私ノ申上ゲマ
シタヤウナ意味ノ、經濟的施設ガ必要
デアルト云フコトヲ御認ニナッタヤウ
デアリマスガ、私ハ斯ウ云ッタヤウナコ
トニ、寧ロ非常ナ努力ヲナサルト云フ
コトガ必要ダト思ヒマス、唯農林大
臣ガ度々最近豐作ノ爲ニ農村ガ惱ム、
其爲ニ或ハ町村長ダトカ、或ハ農會代

表者等ガ御訪ネシタ時ニ、オ前達ハドウシテモ政府バカリ頼ッテ、一向自力デヤラヌカライカヌデヤナイカ、斯ウ云フ場合ニコソ自力デ大イニ調節スルガ宜イト云フヤウナコトヲ仰シヤッタト云フコトデ、御訪ネシタ諸君ガ非常ニ不機嫌デ歸ッテ來タト云フコトヲ、實ハ私聞イテ居リマスガ、私共我國ノ農家ガ、無論此從來ノ慣行カラ政府ヲ頼リ過ギルト云フ弊害ガアルコトヲ認メテ居リマス、デスカラドウシテモ農家自ラノ手デ以テ、農村ノ今日ノ行詰リヲ打開スルト云フコトニ努力スルト云フコトハ、是ハドウシテモヤラナケレバナラス、行詰ッタ際ハ特ニサウデスガ、自力デヤレト云ッテモ出來ナイノデスカラ、斯ウ云フ場合ニハ政府ガ非常ナ決心ヲ以テ、サウシテ自力デ此行詰リヲ打開スルヤウナ途ヲ開イテヤルト云フコトガ、極メテ必要デハナイカト思フノデスカラ、其意味ニ於キマシテ私ハモウ少シ政府當局ガ非常ナ御奮發ニナッテ、唯低利資金ガ中々融通ガ附カヌ、漸ク三千萬圓位出來タト云フヤウナコトデナク、非常ナル場合ニハ非常ナ御決心ヲ以テ、一ツ此農家自ラ調節ニ當ラナクチャナラヌト云ッタコトニ一步ヲ踏出スベク、モット御骨折ガアッテ欲シカッタ、ト斯ウ考ヘマス、之ガ根本的ニ計畫ガ立ッテ遂行サレルト云フ

コトニナレバ、米穀法ナンカト云フモノハ出動シナイデモ宜イト云フコトニナリ得ルト思ヒマス、又サウシナクチヤナラヌ、サウスレバマア米穀法デ非常ナ損失ヲスルト云フコトモ、是ハ段段ナクナッテ來ル、其處マデ行カナケレバナラス、其處マデ行クト云フコトガ、米穀ノ對策ノ一ツノ根本ノ政策デハナイカト、斯ウ私ハ考ヘマス、是等ノ施設ガ伴ハナケレバ私ハ米穀法ノ根本的改正トハドウシテモ見ルコトガ出來ナイノデアリマス、此點ヲ確メテ見マシタ所ガ、御同感ノヤウデアリマス、御同感デアルガ現在ノ程度デハ私満足ガ出來ナイ、是ハ特ニ此點ニ付テ農林大臣ニ要望致シテ置キマス

ソレカラ次ニ御尋致シマスガ、米穀調査會ノ答申ニハゴザイマセヌガ、今日ノ此米穀問題ヲ解決スル方法ノ一ツト致シマシテハ、米ノ取引販賣、斯ウ云フモノノ機關ノ改善整理ト云フコトガドウシテモ必要デハナイカ、即チ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、今日ノ取引販賣ニ關スル機關ガ、甚ダ複雑デアル、其爲ニ生産者ノ手ヲ離レタ米ガ、消費者ノ家庭ニ入ルマデニ非常ナ金ガ掛ッテ居ル、否本當ニ掛ル金以上ニ高ク消費者ノ家庭ニ於テハ米ヲ買ハナケレバナラス、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、即チ之ヲ適當ニ改善シテ行キマスト云フコト

ハ、消費經濟ノ合理化ノ上ニ於テドウシテモヤラナケレバナラス問題ノ一ツト思ヒマス、デスカラ私ハ米穀調査會ニ於テ、之ヲ一ツノ方策トシテ意見ヲ出シテ居リマシタガ、是モ米穀調査會ニ於テハ、御採用ニナラナカッタ、是ハ必要外ト思ヒマスガ、就中私ガ是等ノ機關ノ中デ改善ノ急務ニ迫ッテ居ル所ノモノハ何デアアルカト云フト、米穀ノ取引所ノ問題デナイカト思ヒマス、殊ニ此定期取引、所謂玄米取引是ガ我國ノ米穀ノ問題ヲ適當ニ解決スル上ニ於テ、非常ニ惡イ作用ヲシテ居ルト考ヘマス、即チ是ニ於テ米ガ投機ニ供セラレ、思惑ガ玆ニ行ハレル、我國ノ農家ノ主要生産物デアリ、農家經濟ノ中心ヲナス所ノ米、又國民ノ主要食糧デアル所ノ米、是ガ投機ノ目的物ニナリ、思惑ノ目的物トナッテ、サウシテ或ル一部ノ者ガ自由自在ニ此米ノ相場ヲ左右スルト云ッタヤウナ今日ノ制度ト云フモノハ、ドウシテモ改メナケレバナラス、舊藩時代ノ遺物トシテ殘ッテ居ルノデアリマセウガ、交通機關ノ今日ノヤウニ完全シア來タ時代ニ、斯ウ云フ不合理ナ取引ハ私ハ必要デナイト思フ、殊ニ先程農務局長モ御話ガアリマシタガ、聯合農業倉庫ナドガ都會ニ進出シテ來ルト云フコトニナリマスレバ、自ラ是等ノ問題ハ解決出來ルデハナイカト思ヒマス、ソコデ此問題ニ手ヲ染メナイデ、如何ニ米穀法ガ資金ヲ殖ヤシテ出動シテ見タツテ、是ハ效果ガナイデハナイカ、過去ニ於テ米穀法ガ思フ程ノ成績ヲ舉ゲナイ一ツノ原因ガ、此處ニ潜シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、デスカラ米ノ問題ノ根本政策ヲ確立スルニハ、ドウシテモ此問題ニ手ヲ觸レナケレバナラヌト私ハ信ズルノデアリマスガ、農林大臣ハ大體ニ於テドウ御考ヘニナリマセウカ、御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○町田國務大臣 屢、定期取引ノ改善ノ問題ヲ聞クノデアリマス、甚タ御満足ヲ得兼ネマスガ、實ハ此問題ニ對スル研究ハマダ私トシテハ十分デアリマセヌ、東郷君ノ御意見ノ一ツニ配給改善ノ御意見ノアルコトモ承知シテ居リマス、又私ノ携ハリマシタ米價調節ノ問題ニ付キマシテ、大正四年ト思ヒマスガ、大隈内閣ニ於キマシテ初メテ米價調節委員會ガ出來マシタ時カラ、私モ委員トシテ此問題ニ關係シテ多少研究モ致シテ居リマスガ、當時モヤハリ東郷君ノ御話ノ如ク取引所ノ改善ヲシナケレバ、所謂空相場ト申シマスガ、相場師ノ爲ニ動モスレバ左右セラレル虞ガアルト云フ點カラ、或ハ取引ノ期日ヲ縮メルト云フヤウナ議論ガ當時モ研究サレテ居リマシテ、爾來相當ノ年數

ヲ經テ、屢、正米市場ノ動キト定期市場ノ動キト一致セズ、或ハ相場師ノ爲ニ依ッテ正米市場ガ動カサレテ、是ガ爲ニ生産者ガ迷惑スル場合モアリ、消費者ガ迷惑スル場合ガアルコトハ申スマデモアリマセヌガ、之ヲ如何ニ改善スレバ宜イカト云フ具體案ヲ茲ニ申述ベルマデニ私ノ研究ガマダ參ッテ居ラヌコトハ甚ダ赤面ノ至リデアリマスガ、研究ハ致ス積リデ居リマスガ、マダ徹底的ノ具體案ヲ申上ゲルマデニ參ラヌコトヲ御諒承願ヒマス、尙ホ引續イテ商工省アタリト協議シマシテ、米價對策ノ一トシテ此配給ノ事モ研究シマセウガ、主トシテ私共ハ先刻農務局長カラ御答致シタ通り、全國ノ聯合倉庫ナドノ獎勵ヲシマシテ、消費者ノ手ニ生産者カラ直接參ルヤウナ意味ニ依ッテ、消費者ト生産者ノ關係ヲ密接ニシテ行クト云フ方ニ相當努力ヲ致シテ居リマスガ、取引ノ改善ニ依ッテヤルト云フ、マダ具體案ヲ得マセヌノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、今後一層ノ研究ヲ致スコトニ御承知願ヒマス

○東郷委員 取引所ノ改善ニ付テハ必要ハ御認メニナッテ居ラレマスガ、其具體案ガナイト云フコトデアリマスカラ、是レ以上御尋スルノハ無益ト思ヒマスカラ差控ヘマス
ソコデ私ハモウ一ツ、取引所ノ問題

トハ關係アリマセヌケレドモ、此際ガ適當ト思ヒマスカラ御尋シテ置キタイト思ヒマス、今回第二回ノ米ノ買上ヲナサレタ、百萬石ノ買上ヲナサレタニ付キマシテ、當時新聞等モ盛ニ書イテ居リマシタガ、ドウモ買上價格ガ少シ安過ギル、地方相場ニ比較シテモ寧ロ安イノデ中々不満ガ多イ、斯ウ云フコトヲ新聞盛ニ傳ヘテ居ッタノデスガ、私一昨日用事ガアッテ茨城縣ノ農村ニ行ッテ見マシタガ、アノ邊デ聽イテ見ルト非常ニサウ言ッテ居リマス、ドウモ安イノデ非常ニ不人氣ダ、例ヘバ土浦ノ相場ニ比シテ見ルト一俵ニ付テ六錢バカリ安イ、斯ウ云フノデ、ドウモ色々ノ費用ヲ掛けテ行クコトニナルト損ダ、斯ウ云フノデ非常ニ不人氣惡イト云フ話ヲシテ居リマシタ、ソレカラ銚田ト云フ町ニ參リマシタガ、アノ邊デモア言フサウデアリマスガ、二俵デ十三圓五十錢バカリスル、一俵六圓七十五錢デアル、所ガ今度ノ買上ハ一俵ガ七圓四錢バカリデアアル、ソレデ二十九錢バカリアノ地元ノ相場ヨリ良イケレドモ、ヤハリ色々ノ費用ヲ掛ケルト却テ損ダ、斯ウ云フヤウナ話ヲ頻ニ土地ノ人ガシテ居リマシタガ、サウ云フヤウナ事實ハアルダラウト思ヒマス、更ニ私ノ郷里——度々郷里ノ實例ヲ申上ゲ

テ恐縮デスケレドモ、盛ニ郷里ノ方カラ情報ナリ、不平ガ來マスカラ申上ゲルノデスガ、鹿兒島ニ於テモ非常ニ失望シテ居ル、是ハ二三日前ノ事實ヲ言ッテ參リマシタガ、縣農會宛ニ、其應募米ト云フモノガ發表以來一ツモ來テ居ナイ、現在デハ鹿兒島ノ所謂土地相場三等ガ一俵七圓四錢見當デアアルノニ、買上ノ價格ガ七圓八錢ダ、ソレダカラ四錢ノ開キガアルガ、併シ運賃ダノ、金利ダノ、俵裝ノ改造手間賃等六十錢バカリヲ見積レバ、結局五十六錢バカリノ缺損ニナル、斯ウ云フヤウナ譯デ、ドウモ非常ニ不満ダ、不人氣惡イ、困ッタモノダ、斯ウ云フ情報ヲ得テ居リマス、茨城縣デ、私、ソレ程安イノナラ、ソレデヤ割當ダケノ申込ハナイダラウカト言ッタ所ガ、併シカチ——ニハ行クカモ知レナイ、サウシテ斯ウ云フ場合ニハ、安イ場合ニ買ッテ居ッタ商人ガ農家ノ名ヲ借りテサウシテ賣ッテ、非常ナ儲ケヲスルト云ッタヤウナ、其處ニ弊害モ出來アル、斯ウ云フヤウナ話ヲシテ居ッタノデアリマス、是等ハ偶、私、二三地方ノ實情ヲ訴ヘラレタノデアリマシテ、如何ニモサウ云フ事ガアリハセヌカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテ政府當局ハドウ云フ御考デアマリセウカ、アア云フ風ニ價格ガ地方ノ相場ヨリモ比較的低カッタノデアリマス、隨テ非常ナ

不人氣ヲ呼ンダ、斯ウ云フヤウナコトノ經緯、御意見ヲ承ケタイト思ヒマス
○町田國務大臣 多クハ實際ノ、申サバ事務的ノ問題デアリマシタカラ、農務局長カ、米穀課長カラ申上ゲタ方ガ御諒解ヲ得ルト思ヒマス、唯大體ノ事情ヲ私承知シテ居リマスノハ、申スマデモナク米穀法ハ時價ニ依ッテ買上ゲルト明カニ規定シテアルノデアリマス、而シテ時價ト申スコトハ、從來歷代ノ内閣ガ同様ニ取扱ッテ居リマスガ、御話ノヤウニ心持ダケ安過ギルト考ヘル場所モナイデモアリマセヌガ、如何ニモ時價トアリマスルカラ、ソレ以上ニ買フ譯ニ參ラヌコトニ相成ッテ居リマス、唯商人ノ手ニ儲ケラレルヤウナコトヲ避ケタイト云フヤウナ點カラ、第一回ノ買上ノ場合ニ於キマシテモ、第二回ノ買上ノ場合ニ於キマシテモ、信用組合、就中農會等ノ盡力ニ依リマシテ、生産者カラ直チニ買入レル、即チ優先權ヲ之ニ與ヘテ居ル、而シテ買入レル場所モ出來ルダケ多クシテ、生産者ニ利益ニナルヤウナヤリ方ヲシテ居ル、其實際ノ事情ハ局長ヨリ申上ゲテ御諒解ヲ得ヤウト思ヒマス
○石黑政府委員 只今大臣ノ御述ニナリマシタコトニ少シク補足ヲシテ申上ゲテ置キマス、今大臣ノ申サレマシタヤウニ買上ハ時價ニ依ルト云フコトニ

ナッテ居リマス、而シテ其時價ハ各買入場所ヲ決メテ居リマスルガ、其買入場所ニ於キマスル時價ヲ買フノデアリマス、隨ヒマシテ其時價ノキメ方ハ買入場所ニ於ケル取引市場ノ代表的ノ銘柄ヲ選定致シマシテ、ソレノ最近ノ時價ヲ平均致シマシテ、標準價格ト先ヅ決メルノデゴザイマス、此時價ノ決定ニ付キマシテハ各米穀事務所ノ所長ノ報告ヲ基礎ト致シマシテ、之ニ正米市場ノ各銘柄ニ付テノ出來値、ソレカラ中米ノ標準相場、產地ノ入電ト云フヤウナモノヲ參照致シマシテ、其正シキヲ得ルヤウニ努メテ居ル譯デアリマス、左様ニ致シマシテ定メマシタ標準價格ニ、米穀検査ヲ受ケマス費用、其他ノ雜費、金利、或ハ保管料ト云フヤウナモノヲ加算致シマシテ、之ニ米穀證券ノ割引料ヲ加ヘテ標準米ノ買入價格トシテ、買入價格ヲ決定スルノデゴザイマス標準米以外ノモノ、買入價格ハ然ラバ如何スルカト云フコトニナリマスト、其標準米ニ對シマシテ各銘柄間ノ格差ト云フモノガ買入場所ノ市場ニ於テ決ッテ居ルノデアリマスルカラ、ソレヲ加減ヲ致シマシテ決定ヲ致スノデアリマス、ソレガ報告ニ御覽ノ通りニ非常ニ澤山ノ數ニ互ッテ居ルノデ、是ノ決定算定ガ中々面倒デアアルノデアリマス、サウ云フ風ニシマシテ買上價格ヲ

決定スルノデアリマスガ、唯勝手ニ見マスト云フト、今年ノ如キ或ル地方ノ如キハ、非常ニ同ジ三等ト申シマシテモ例年ノ例ヨリモズツト惡イ品質ノモノナドガアリマス、サウ云フヤウナ時ニハ其處モ多少ノ斟酌ハシナクテハナラナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、左様ニ致シマシテ時價ヲ以テ買上ヲ致スト云フ風ニシテ居ルノデアリマス、所ガ今回ノ第一回及ビ第二回ノ買入共ニ從來ノ買入ト異リマシテ、各產地ニ——各府縣ニ買入數量ヲ割當テ、貰ッテサウシテ生産者優先デ買上ゲテ呉レ、斯ウ云フ希望ガ非常ニ強イノデアリマシテ、生産者團體ノ決議等ヲ以テ非常ニ要望シテ參ッテ居ッタノデ、米穀委員會等ニモ諮リマシテ、其方法ニ依ルコトニ致シタノデアリマス、其結果或ル地方等ニ於キマシテハ買上待チト申シマスカ、或ハ此間ニ於テ相當ノ出廻リガ細リマシテ、米價ガ異常ニ高クナッタ地方モアルノデアリマス、サウ云フヤウナ特殊ノ高クナリマシタ地方値段デ買上ゲルト云フコトニ致シマスト非常ニ困ルコトニナルノデアリマス、例ヘバ一番著シカッタ例ハ、青森縣ノ例デゴザイマス、青森縣ハ白米トシテ常ニ相當量ガ他府縣ニ出ル、然ルニ第一回ノ時ニハ如何デアッタカト云フト、山形秋田ノ米ガ寧ロ青森ニ這入ッ

テ來タ、サウシテ青森ノ米ノ賣買ト云フモノハ殆ド取引ガナク、建値ト云フモノガ大變ニ高クナッテ居リ乍ラ取引ハナカッタ、サウシテ他府縣ノ米ガ這入ッテ來タト云フヤウナ事情ヲ見ル程高クナッテ來ル、ソレヲ東京ガ買入場所デアル、東京デ以テ買フト云フコトデ、其値段デ買ヒマス、御承知ノ通りニ岩手ノ江刺米ノ如キハ非常ニ品質ガ良イト云フノ東京デ高イ値段ニ付ケラレト云フデアリマスガ、其岩手米ノ同等ノモノヨリモ、モット高イ値ニナッテ居ル、而モ東京ニ於テ青森米ナルモノハ、殆ド問題トサレナイ、昨年、一昨年デアリマシタカ、縣廳ガ多額ノ費用ヲ掛ケテ東京市場ニ賣擴メマシテ、何トカ消費ヲシテ貰ヒタイ、買付ケテ貰ヒタイト云フ宣傳ヲシタ位ノ程度ニマダ留ッテ居ルモノガ、岩手米ヨリモズツト高ク出テ來ルト云フヤウナ事ニナルノデアリマス、サウ云フ事ハドウモ吾々ノ方ノ米穀法ノ買入トシテハ認メルコトガ出來ナイ、ソレ等ノ點デアリマスノデ、ソレハ極端ナ一例デアリマスケレドモ、サウ云フヤウナコトガ程度ヲ異ニシテモアル地方ガナイトハ申セナイ、併シ是ハ農林省トシテハ從來ヤッテ居リマシタ買入價格ノ決定方法ニ依ッテヤルノデアリマシテ、之ヲ能ク農會等カラ周知セシメテ呉レルト宜イノデアリマ

スガ、ドウモ誤解ガマダ去リマセヌヤウデ、第二回ノ買入ニ先ダチマシテハ、買入場所ノ時價ニ依ッテ買フノデアルカラ、產地ガ特ニ高イト云フヤウナ事ガアッテモソレデ買フ譯ニハ行カナイ、ソレカラ生産者優先ト云フコトデアアルケレドモ、ソレガエラク競争ヲシテ協調ガ出來ナイ爲ニ、非常ニ應募數量ガ餘計ニナッテ、應募洩レ米ト云フヤウナコトノ爲ニ、失望ヲ致シテ投賣ガ出ルト云、タヤウナコトヲ吾々ハ恐レルカラ、今度ハサウ云フ事ノナイヤウニ地方長官ニ於テ適當ナル協調ヲ取ラセルヤウニシテ、證明ノアッタモノガ生産者優先トシテ、優先權ヲ以テ買入シヨウト云フヤウナコトノ注意的通牒ヲ、數項ニ分ッテ買入ニ先ッテ出シテ置イタ、併シソレ等ガ尙ホ徹底致シマセヌ爲ニ、多少其處ニ不滿ナル狀態ガ出來タスガ、誠ニ已ムヲ得ザル事ト存ジ、甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス

○胎中委員 現在ノ米穀法ニ依リマシテ、只今農林大臣ノ仰シヤッタヤウニ、規定ニ束縛サレテ、法規ニ束縛サレテ、サウシテ買フ時モ、賣ル時モ、無論其場合ニハ米穀委員會ニ諮ルト云フコトモアリマセウガ、賣ルコトモ買フコトモヤハリ時價ニ依ルト、サウ解釋シテ宜シウゴザイマス

○町田國務大臣 今ノ米穀法ノ規定ハ左様デゴザイマス

○片野委員 此買入ニ付キマシテハ買入ノ要望ガ全國的ノ聲トナツテ現レタノデアリマシタガ、愈々買入ノ實施ト云フコトニナリ、其價格ガ一先ヅ發表ニナルト、地方ノ生産者ガ非常ナ失望落膽ヲ致シタト云フコトハ事實デアリマス、當局トシテ愈々最後ノ肚ヲ御決メニナツテ買入ヲシヨウト云フ時ノ價格ノ變動ニ付テノ豫想、御考ト云フモノハドウデアッタカ、ソレカラ其爲ニ非常ナ失望ヲ致シタノミナラズ、地方ニ依ッテハ其爲ニ一時價格ガ非常ニ下落シタヤウナ處モアル狀況デアリマス、當時買上ヲ非常ニ熱望シタ其聲ニ對シテ、結果ニ於テ甚ダ裏切ラレタヤウナコトニナツテ居ルガ、其後ノ價格ニ於テモ是ト同様ノ經過ヲ取ツテ居ルト言ツテ宜カラウト思フ、此點ニ付テ當局トシテ如何ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、ソレヲ御伺致シタイ

○荷見農林書記官 只今ノ御質問ニ對シテ御説明致シマスガ、今回ノ前ノ第一回デ二百萬石ノ買入ヲ致シマシタ時ハ、十二月十日ニ價格ヲ發表シテ居リマス、ソレデ其時ノ狀況ハドウデアッタカト申スト、實ハ十一月十一日ニ第二回ノ收穫豫想ガ發表サレマシテ、其後段々安値ヲ辿ッテ來タノデアリマスケ

レドモ、十二月ニナリマシテ二百萬石買入ガ行ハレルト云フコトニナッタ後、各地共米ノ値段ハ強氣ニナリマシテ、今農務局長カラ御説明申シタヤウニ、產地ニ依リマシテハ買上値段ハ時價ヨリモ一二圓高イダラウト云フヤウナコトヲ期待致シマシタ爲ニ、可ナリ變態ヲ來シタノデアリマス、併ナガラ其變態ヲ來シタ價格ヲ買フト云フコトハ、先ニ御説明申シタヤウニ米穀法ノ運用トシテハ困難デアリマス、ソレデ時價ニ準據シテ買入値段ヲ決定シタ譯デアリマス、其爲ニ產地ノ方デモ幾分期待ニ外レタヤウナ模様ハアリマシテ、幾分カハ產地ノ不賣ノ爲ニ上ツタ價格ノモノハ下ツタヤウナ傾向ハアリマスケレドモ、其買入實行後ニ於テハ漸次強調ヲ呈シテ參ッテ居ルノデアリマス、ソレハ先日差上ゲマシタ米價調ヲ御一覽願ヘバ御分リニナルト思ヒマスノデ一詳細ニ申上ゲマセヌ、ソレカラ今回ノ買入値段ノ發表ニ付テハ、是ハ割安デアルト云フヤウナ批評ナリ不平ナリヲ聞クコトモアリマスカラ、ソレガドウ云フ風ナ狀況デアッタカト云フコトヲ一二各地方別ニ例ヲ舉ゲテ御説明申シタナラバ御了解ガ易カラウト思ヒマス、ソレデ私共ノ方ヘ帝國農會等ヲ通ジテ間接ニ這入リマシタ買上値段ニ對スル不平ハ、第一ハ廣島縣デアリマス

ガ、廣島縣ニ於テハ農村ノ期待ニ比シテ五十錢バカリ安イト云フコトヲ言ッテ來テ居ルノデアリマス、然ルニ吾々ノ方ノ價格決定當時ノ狀況ヲ申上ゲテ見マス、價格決定ノ當時ニ於ケル廣島縣米ノ相場ハ、廣島縣米ノ買入場所デアル神戸市場デハ、石當リ小粒ノ三等ガ十七圓五十錢カラ六十錢見當デアリマシテ、之ヲ政府ノ買入價格十七圓九十七錢五厘ト云フノニ比較致シマス、其差ハ三十七錢カラ四十七錢位ノ低値ニナツテ居ルノデアリマス、ソレニ證券割引等ノ雜費ヲ支辨シマシテモ、是ハ相當引合フヤウニナツテ居ルノデアリマシテ、五十錢方安カッタト云フコトハ、ドウモハッキリシタ相場ノ關係カラハ計數ガ出テ參リマセヌ、ソレカラ兵庫縣デモ安イト云フ小言ガアリマシテ、サウシテ何トカ價格ヲ高クシテ貰ヒタイト云フヤウナ話ガアリマシタケレドモ、實際ハ政府ノ買入價格發表ノ後ニ米價ガ慘落致シテ居リマセヌコトハ、是ハ二月ノ十六、十七、十八日ノ神戸邊リノ正米相場ヲ見マシテモ、十八圓二十錢ト云フ値ガズツ繼續致シテ、二月十六日カラ二月二十日マデ十八圓二十錢デ居リマスノデ、ソレヲ御覽ニナツテモ分ルト思ヒマス、ソレカラ期米ノ値段デアリマス、神戸ノ方デハ十七圓四十錢ガ十六日ノ相場デアリマス

ガ十七日ガ十七圓四十四錢、十八日ガ十七圓六十四錢、十九日ガ十七圓五十七錢、二十日ガ十七圓三十八錢、二十一日ガ十七圓五十錢ト云フ風ニナツテ居リマスノデ、其價格發表以後下落シタト云フコトニハ、相場ノ關係カラハナツテ居リマセヌ、ソレカラ縣農會ノ方デ色々御話ノアル、詰リ神戸市場ノ價格ト云フモノハ、ソレデハ何ヲ採ッテ居ルカト申シマスルト、神戸ノ米穀市場ノ標準相場デアリマシテ、神戸ノ米穀市場ノ標準相場ハ、御承知ノ通りニ是ハ旭種ト云フ有名ナ米デアリマスノデ、特ニ良クナツテ居ルノデアリマスガ、彼處ノハ旭種バカリデアリマセヌノデ、他ノ劣等ナル種類モ入ッテ居リマス、其他京都デゴザイマス、奈良デゴザイマス、トカ云フヤウナ地方ニ、色々安過ギルト云フヤウナ御話ガアリマスケレドモ、一々申上ゲマセヌ、數字ニ付キマシテ、ソシナ不當ナモノデナイト云フコトダケハ申上ゲ得ルト思ヒマス、尙ホアノ邊ノ市場ノ日報アタリヲ讀ミマシテモ、政府ノ今回ノ買入値段ト云フモノハ、餘リ不當ナモノデナイト云フコトヲ、商人、取引所側邊リノ關係者ハ申シテ居ルヤウデアリマス、一餘リ管々シク申上ゲルコトハ如何カト思ヒマスカラ、此程度デ止メテ置キマスケレドモ、餘リ不當デハナカッタヤ

ウニ思ヒマス、唯御承知ノ通り中國、九州邊ハ、第一回ノ二百萬石買入ノ當時ニハ、マダ端境氣分ガ濃厚デゴザイマシテ、價格ガ相當高カッタノデゴザイマスケレドモ、今回ノ買入ノ際ニハ、既ニ出廻リノ最盛期ニ入ッタヤウナ形ガアリマシテ、ソレデ第一回ノ時ヨリハ、餘程價格ガ下落シテ居ルコトハ事實デアリマス、ソレカラ關東地方デモ、ヤハリ幾分下落シテ居リマスガ、北海道デアルトカ、青森デアルトカト云フ方面ノ、早イ出廻リノ地方ニ於キマシテハ、前回ニ較ベテ餘リ價格ガ下落シテ居リマセヌノミナラズ、却テ少シハ高目ニナッテ居ルト云フ關係モアリマスノデ、價格ノ關係ハ、サウ云フ風ナ事情ニ支配サレテ居ルノデアリマス

○西村委員長 私人一寸御斷リシテ置キマスガ、荷見米穀課長ハ政府委員デアリマセヌ、ソレデアリマスカラ、アナタ方ノ御承認ヲ得テ發言ヲ許スベキデアリマシタガ、其手續ヲ忘レマシタノデ、此段御斷リ致シマス、ソレデ皆サンノ御承認ヲ得テ置キタイノハ、今後政府委員外ノ方デ説明ナンカニ來ル方ガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ時々許スコトニ致シマスカラ、御承認ヲ願ヒマス

○片野委員 只今ノ御説明ハ、現ハレマシタ事實ノ經過ヲ御話下サレタヤウ

ナコトデアリマシタガ、私ノ特ニ御聽キシタイト思ヒマシタコトハ、當局ハ米價ト云フモノニ對シテ、當時ドウ云フ御考ヲ以テ、米穀法ノ發動ヲ御決議ニナッタカト云フコトデアアルノデアリマス、將來ドウナルカト云フ、單純ナ御見込ト云フコトバカリデモアリマセヌ、斯クスレバ斯クナルト云フコト、申上ゲテ見レバ、唯地方農民ノ要求ガ強イカラ、唯漫然トヤッタト云フコトデハ恐ラクアリマスマイ、當局トシテ御買上ニナリマシタ目的ト云フカ、結局斯クナルカラシテ買ハナケレバナラヌト云フ御考、ソレカラ併セテ當時米價ノドウ云フ進ミ方ニナルト云フ御考デアッタカ、此點デアリマス、ソレト併セテ生産者優先ト云フ事柄ニ付テ、全體私ハ自分ノ意見ヲ此處デ申上ゲテ居ルノデハナイ、其事ノ善惡ハチヨットモ申上ゲテ居ルノデハナイ、生産者優先ノ御方針デ進ンダコトニ付キマシテモ、時價デ買フト云フコトニ照シテ見ルナラバ、生産者優先ト云フコトハ、ドウ云フ意味ヲ爲スノデアルカ、是モ唯地方ノ要求ガアッタカラ、サウシタンドト云フダケノモノデアアルカ、是モ併セテ御尋ヲ致シタイ

○石黒政府委員 二回ノ買上ヲ米價ノ上ニ於テドウ考ヘテヤッタカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ先日モドナタ

カ御尋ガアリマシタ、東郷君デアリマシタカ御尋ガアリマシタガ、無論當時ノ米價ヲ以テ、最早米穀法ヲ出動致シテ買上ヲシナケレバナラヌト考ヘテ、買上ノ方法ニ出タ譯デアリマス、ソレカラ其結果ソレデハ幾ラニ引上ゲルト云フ目的デヤッタノカト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、ソレハ買上ヲヤリマスル當時ニ於キマシテ、幾ラマデ必ズ引上ゲルト云フ考ヲ以テヤッタノデハゴザイマセヌ、二百萬石ノ買上、百萬石ノ買上ト云フモノヲヤリマシタナラバ、相當ニ米價ヲ維持スルコトガ出來ルデアラウ、サウシテ之ヲ政府ノ手ニ於テ締込シマヒマスルナラバ、米價ハ相當ニ維持ガ出來ルデアラウ、斯ウ考ヘテヤッタ譯デアリマス

ソレカラ生産者優先ノ問題デゴザイマスガ、是ハ米穀法ノ買入ト云フモノニ付テ、生産者優先ト云フモノヲ認ムルガ善イカ惡イカト云フコトニ付テハ、是ハ只今御話ノアリマシタヤウニ、可ナリ是ハ私共モ意見ガゴザイマスガ、片野サンノ御尋ノ點ハ、或ハ相當ニ良イ値デ買ッテヤルノニアラズンバ、生産者優先ト云フコトハ、何ニモ意味ガナイデヤナイカト云フ意味ノヤウニ伺ッタノデアリマスガ、私共モ大體ニ於テ時價デ買フトコトニシテ、優先ト云フコトガ、ドレダケノ意味ガアルカト云フ

コトハ、御同感ニ考ヘマス、大シタ意味ハナイト考ヘマス、併シ生産者ノ希望ガ、成ベク政府ニ直接ニ賣リタイ、ソレガ結局不當ナル安値デ以テ商人ニ買叩カレルト云フコトノナイダケデモ、是非ソレヲ希望シタイト云フヤウナ考カラデアリマセウ、可ナリ此要求ガ熾烈ナノデアリマス、或ハ私カラ申スト云フト、少シ希望ガ厚過ギルヤウニ思フ、併シ熱心ナ希望ト云フコトダケハ事實デアリマス、ソレヲ從來モ相當考慮ニ入レテヤッテ來テ居リマシタカラ、今度ハヤハリソレヲ踏襲シタ譯デアリマス、所ガ是ガ府縣割當ト同時ニ組合セニナリマシテ、第二回ノ成績ハマダ分リマセヌガ、第一回ノ成績デハ、此優先者タル生産者ガ殆ド大部分買入ニ應募致シマシタノデ、尙ホ應募漏レニナリマシタ申込者ガ、相當多數アッタト云フヤウナ事情デアリマシテ、優先權ヲ持チマセヌ商人ノ申込ト云フモノハ、殆ドナカッタト云フヤウナ事情デアリマス

○片野委員 只今ノ御説明デハ、必要ヲ認メタカラシテ發動シタト云フヤウナ御言葉モアリマシタ、是ハ勿論必要ヲ認メナイデ御發動ナサル筈ハナイ、私決シテ攻撃ノ意味デ御聞キスルノデアリマセヌガ、此點ハ今買ハナケレバナラヌト云フコトヲ御決メニナッテ

御發動ニナルト云フコトニ付テハ、數量ノ問題ハ勿論申上グルマデモナイ、數量ノ問題ヲ御考ニナッタニ違ヒナイガ、米價ノ問題ト云フコトニ付テモ、十分御考ニナッタノデアリマセウ、其時ノ先ヅ御考ヲ承リタイ、ドウ云フ風ニ將來値ガナルカ、此値デ買上グルナラバ、ドウ云フ風ナ徑路ヲ取ルカト云フヤウナコトニ付テノ、當時ノ御方針ト言ヘバ宜イカ、御見込ヲ先ヅ承ラナケレバナラナイ、此引上ノ目的ノ問題ニ付テハ、只今大シタ意味ヲ持ッタノデナイト云フヤウナ御説明デアッタノデアリマス、一寸能ク私受取り兼ネマシタカラ、重ネテ御伺致シマス、農家ガ買上ヲ希望スルト云フノハ何デモナイ、要スルニ生産費ヲ割ッテ苦シデ居ル今日ニ於キマシテ、値段ヲ上ゲテ貰ヒタイト云フコトダケナンデアル、此目的ヲ達スルコトガ出來ナケレバ、是ハマア一般農家トシテハ買ッテ貰フ必要モナイヤウニナッテシマフ、元來御願スルコトハ其處ニアルノデスカラ、當局ト致シマシテ、此米穀法ヲ御發動ニナッテ、國デ買上ゲテヤラウト云フ時ニモ、其農家ノ希望ト云フモノト相符合シテ、其目的ガ達セラレルコトデナケレバ、殆ドス、其暴落ノ大勢ヲ防止シタト云フ力ハ相當アル譯デアリマス、ソレヨリ仕方アリマセヌ ○長野委員 一寸關聯シテ御尋致シタルト、暴騰暴落ヲ防グノガ趣意デア	ス、此點ニ付キマシテ重大ナ問題ト思フカラ、特ニ大臣ノ御答ヲ願ヒタイ ○町田國務大臣 御満足ヲ得ルヤウナ答辯ニナルカナラナイカ知レマセヌ ガ、米穀法制定ノ目的ヲ御考下サレバ、大體御了解ガ出來ルト思ヒマス、ヤハリ米價ノ暴騰暴落ヲ防イデ、國民ノ生活ヲ安定スルト云フ大趣意カラ、是ガ出發致シテ居リマス、屢、從來私ガ委員ニナリマシテ以來、米穀法竝ニ米穀法運用ノ問題ニ對シテ、歴代内閣ニ於テ、此問題ニ對シテハ相當委員會等デ論議サレテ居リマス、併シ若シアノ當時ニ百萬石ヲ買入レナカッタナラバ、當時既ニ十五圓ニ米價ガ下落シカ、ッテ居ルタ、是ガ爲ニ農村不況ガ一層甚シキヲ加ヘルト云フ時代ニアッタデアリマス、故ニ少クトモ此米穀法ノ發動ニ依ッテ、更ニ暴落スベキ米價ヲ、其暴落スル程度ヲ少クシ、若クハ維持シタト云フコトハ、明カナ事實デアリマス、第二回ノ米穀買入モ又左様デアリマス、之ニ依ッテ大ニ米價ガ騰貴シタカ否ヤト云フコトハ、場合ニ依レバ騰貴シタコトモアリマセウ、又騰貴セシメル程ノ效果ガナクテモ、是ナカリセバ大暴落ヲ來ス、其暴落ノ大勢ヲ防止シタト云フ力ハ相當アル譯デアリマス、ソレヨリ仕方アリマセヌ	イ、政府買上米ヲ各府縣ニ割當テタ其數量ハ、各府縣ノ生産米ヲ單位ニシタノデアリマス、若クハ移出米ヲ單位ニシテ御配付ニナッタノデアリマス、結果ヲ見マスレバ、何レノモノヲ單位ニシタカ分ラナイヤウニ考ヘラレマス ○町田國務大臣 詳シクハ局長ヨリ申上ゲマスガ、其點モ私モ大體參加シテ居リマシタカラ申上ゲマス、其各府縣ニ割當テタ算出方ハ、餘程慎重ニ考慮シテ、私共モ事務的デアリマスケレドモ、此問題ニ重大ナル意味ヲ以テ參加シテ事情ヲ知ッテ居リマスガ、大體ハ縣外ニ移出スルト云フ分量ニ一ツノ重キヲ置キ、縣内ノ產出額ト云フコトニ對シテモ、一ツノ標準ナリ數量ヲ算定スル基礎ヲ置キ、モウ一ツハ縣内ニ於テ生産者ガ賣出スト云フ、此三ツノ要素ヲ加味シテ、主トシテ縣外移出ノ數ニ重キヲ置イタ筈デアリマス、其割方ハ局長ヨリ此際申上ゲテ御參考ニ供シタ方ガ宜カラウト思ヒマス	カラト云フ、サウデナケレバモット下リサウデアルノヲ防イダト云フ、此暴騰暴落ヲ防グト云フコトニ付テモ、私共ノ承知シテ居ル所デハ、暴落シテシマッタノデナイカ、暴落シテシマッタカラ發動シテ、サウシテ大シタ效果ヲ舉ゲテ居ナイデナイカ、暴落ト云フノハ、ドウノ程度デアッテ、唯十五圓ト云フヤウナ所マデチラノ見エタガ、ソレヲ止メタ、斯ウ云フ御話デアッタ、暴落ハ十五圓程度デアルシ、十七圓程度デアラナラバ、暴落デナイト云フ御考デアルカ、私ガ斯ウ申上ゲマスルノハ、當局ガ其趣意ニ於テ御發動ニナルニシテモ、時機ヲ失シタヤウニ感ジテ居ル、例ヘバ農民運動ナゾガ起リマシテ、所謂死ヲ決シテ大舉シテ運動ヲ續ケ、非常ニ長ク運動ヲサシテ、ソレカラヤット大臣ガ言明サレタトカシナイトカ云フヤウナコトデ、ヤッサモッサヤッテ居ッタ、吾々ハ斯ウ云フ時ニハ、モット早く時機ヲ失セズシテオヤリニナラナケレバナラヌモノデアラウト思ッテ居ッタ、一面カラ考ヘテ見マス、斯ク申シマスルノハ、甚ダ穿ッタ失禮ナコトニ當ルカ知レマセヌケレドモ、現内閣ノ低物價政策ト相俟チマシテ、農林大臣モ或ハ其位下ッテモ當然ダラウ位ノ御考デナカッタカト私ハ思フ、サウ云フ風ナ御考ノ上デ、此米穀法ヲ發動ナサルト云フコトデアレバ、
--	--	---	---

是ハ大變ナコト、吾々共思ッテ居リマス、洵ニ農民ノ爲ニ遺憾ニ堪ヘナイ、是ノ實質的ニ效果アラシメルヤウニスル施設ヲシテ下サレナイト云フコトヲ、大體吾々ハ見テ居ルノデ、唯致方ガナイ、是ダケヤッタシタカラ、此程度デ止ッテ居ルト云フダケデハ、今日ノ一般ノ物價ノ低落ノ趨勢——其度ハソレノアリマスケレドモ——ノ事情カラ照合セテ見ルト、米穀法ノ發動ニ依ッテ維持シテ居ルト云フ效果ハ、幾ラカアリマセウガ、甚ダ微々タルモノデアル、所謂低物價政策ニ應ジテ暴落シテシマッタ問題ノヤウニ私共ハ思フ、急ニ下ッテ來ルコトヲ防ガレル爲ニ發動スベキモノデアルナラバ、モウ少シ何トカ此法ノ運用ノ上ニ於テ御考慮下サレテ、所謂本當ニ暴落ヲ防イダ所ノ結果ヲ現シテ下サラナケレバナラヌデハナイカ、斯様ナ考ノ下ニ私ハ御尋ラシテ居ル、其點ニ於キマシテハ、甚ダ大臣トシテハ冷淡デナカッタカ

○町田國務大臣 私ハ昨年來農村問題ニ相當努力ヲ盡シテ居リマス、其效果ガ十分デナイト云フコトカラ、私ノヤリ方ヲ冷淡ト御考下サルナラバ、是ハ致方ガナイ、心外デアリマスガ、是ハ御批評ニ委セマス、私ハ斷ジテ冷淡デナイ積リデアリマス、而シテ——又東君ヲ申スト失禮デアルカモ知レマセヌ

ガ、中々米穀法運用ノコトハ困難ナ問題デアリマシテ、批評ハ幾ラデモ批評下サツテ宜シウゴザイマスガ、米穀法ガ完全ニ效果ヲ示シタト云フコトハ、今日迄モ容易ニアリマセヌ

ソレカラ昨年ノ十一月ニ米穀委員會ヲ開イテ、二百萬石買上ラシタノハ既ニ遲イ、時機ヲ失シテ居ルカノ如キ御尋デアリマスガ、或ハ東北、北陸ニ向ッテハ、早クヤルトカ、九州ニ向ッテハ後デヤルト云フヤウニ、二様ニヤル考モ致シテ見タノデスガ、中々困難デアリマシタ、ソコデ十一月ノ二十日ニ二百萬石ヲ買入レルト云フコトノ決定ハ、寧ロ關西其他九州ノ方面ニ向ッテハ、マダ時機ガ少シ早カッタ、東北ニ對シテハモウ少シ早イ方ガ宜カラウト云フ、片野君アタリノ御考デアリマスガ、全國ヲ通ジテ見マスルト、關西ニ向ッテハマダ時機ガ早カッタノデアリマス、併シ十二月カラ一月ニカケテハ、農家ガ一箇年ノ決算ヲ致ストカ、地租ノ納期ガ迫ッテ居ルカラ——之ヲ十二月、一月ニ買上ゲタ場合モ昔ハアリマス、一月ニ入ッテ始メテ買入レタ場合モアルガ、左様デハ遲イト云フ積リデ、十一月カラヤッタノデアリマス、何シロ六千六百八十萬石ト云フ未曾有ナ大豐作ニ對シテハ、此大勢ヲ防止スルコトハ餘程困難デアリマスカラ、私共ハ十一月ノ二十

日ニ於テ、寧ロ早キニ及ンデ全國ニ互ル所ノ二百萬石ヲ買ッタコトハ、時機ヲ失シテ居ルト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、其效果ガ御希望ノ如ク參ラナカッタカモ知レマセヌガ、併シ若シ之ヲ放任シテ、米穀法ヲ出動シナカッタ場合ヲ考ヘテ見マスルト、關西邊リノ新聞ニ、當時相場師アタリノ言フ所ニ依ルト、此米ヲ十圓ニシテ見セルトカ、十二圓以下ニ下ゲテ見セルナド、豪語シテ、是ガ爲ニ餘程人心ニ不安ヲ來シタ次第ヲ考ヘテ見マス、相當ナ效力ガアッタモノト確信致シテ居リマス

○東郷委員 私他ノ諸君ノ御質問ヲ聽イテ居リマシテ、尙ホ多少此點ニ疑問ガアリマスカラ、最後ニ確メテ置キタイト思ヒマスガ、今回ノ第二次ノ米ノ買上ノ價格ガ、地方的ニ見レバ安過ギタ所モアリ、場所ニ依ッテハサウデナイ所モアルサウデアリマスガ、大體ニ於テ安過ギタト云フ非難ノ起ッタコトモ根據ガアル、ソレハ兎モ角ト致シマシテ、今度百萬石御買上ニナッタコトノ效果ハ、少クトモ是デ暴落ヲ防グコトハ出來タノダ、斯ウ云フ農林大臣ノ御話デアリマスガ、ソレガ果シテ事實カドウカ、之ヲヤラナカッタ場合ニ下ッタカドウカト云フコトハ、是ハ所謂推定デアルカラ、ソレガ適當カ適當デナイカハ別問題ト致シマシテ、私ハ先日現在

ノ十七圓幾ラト云フ米價ガ適當カドウカト云フコトヲ御尋シタ所ガ、適當デナイ、ソレデハ幾ラガ適當ト御思ヒニナルカト聽イタ所ガ、十八圓二十八圓見當ガ適當デアラウ、斯ウ云フ農務局長ノ御答デアリマシタ、ソコデ今回百萬石御買上ニナリマシタガ、其效果ガ

所謂農林當局ガ適當ト御思ヒニナル十八圓二十八圓ニマデ上ゲテ行クコトハ、是ハ推定デナイ事實デアルカラ、御認メニナルダラウト思ヒマス、即チ政府ノ適當ト御認メニナッテ居ル米價マデ釣上グルコトノ效果ガナカッタ、十八圓二十八圓ガ適當カ適當デナイカハ、私ハ別議論ガアリマススケレドモ、政府ハサウ仰シヤッテ居ル、其適當ナ十八圓二十八圓マデ引上グル效果ガナカッタトスルナラバ、御尋シナケレバナラヌ、米穀法ノ發動ノ精神ガ、所謂適當ナ價格マデ相場ヲ維持スル爲ニ發動ナサルト云フナラバ、今後更ニ第三次、第四次ノ御出動ガ必要デナイカ、サウデナケレバ今日ノ政府ノ御認メニナッテ居ル適當ナ米價、十八圓二十八圓マデ引上グルコトガ出來ナイノデハナイカ、斯ウ考ヘタ場合ニ、ドウシテモ次ニ更ニ御買上ノ必要ニ迫ラレテ居ヤシナイカト考ヘマスガ、政府ハ此點ニ付テドウ御考ニナリマスカ

○石黒政府委員 十八圓二十八錢ト云

フノガ、丁度率勢米價ノ下ニ二割ニ當
ルノデアリマシテ、政府ハ今ドノ位ヲ
適當トスルカト云フ御尋ニ對シテ、私
ハ此改正案ヲ出シテ居リマス政府ト致
シマシテ、十八圓二十八錢ヲ下ッタ場合
ニ於テ米穀法ノ發動ヲスル、斯ウ云フ
意味デ御答ヲ致シタノデアリマス、從
ヒマシテ十八圓二十八錢ガ適當ナ値段
ダト云フ意味デハアリマセヌ、十八圓
二十八錢カラ上四割ノ自由範圍ト云フ
モノガアル、其間ニ於テ上下スルコト
ハ、是ガ一番適當ダト思フノデアリマ
ス

而シテ今度ノ買上ヲヤリマシテ、少
クトモ十八圓二十八錢ニ達シナケレ
バ、更ニ買上ヲヤルカト云フ問題デア
リマスガ、ソレハ出來ルダケ其價格マ
デニハ達シサセタイト考ヘテ居リマス
ガ、買上ヲ致スカ致サスカト云フコト
ハ、是ハドウモ私ガ此處デ何トモ御答
申上グラレマセヌ、御答申上ゲテモド
ウモ、私ガ御答申上ゲタノデハ少シモ
値打モナイダラウト思ヒマスカラ……
○東郷委員 私ハ只今ノ御尋ハ、實ハ
農林大臣ノ御答辯ヲ願フ積リデアッ
タノデスガ……

○町田國務大臣 其點ニ付テ私ガ考ヘ
マスニハ、第二回ノ買上百萬石ヲ發表
シテ居リナガラ其處ニ達シテ居ラヌデ

ハナイカト云フ一ツノ御疑問モアッタ

ヤウデアリマス、第二回ノ買上ハ今進
行中デアリマス、併シマダ市場カラ全
部之ヲ引抜イテ國家ノ手ニ移ルコトガ
完備致シテ居リマセヌ、同時ニ屢、御批
評ノアリマスル粳ヲ玄米ニ換算シテ二
百三十萬石ト云フコトモ進行中デアリ
マシテ、マダ完備致シテ居リマセヌ、又
内務省ガ罹災救助基金ヲ府縣ニ貸與ヘ
テ、之ニ依ッテ四五十萬石買入レルト云
フコトモ、マダ進シテ居マセヌ、斯様ナ
結果ヲ考ヘマシテ、暫ク此推移ヲ見マ
シタナラバ、私ハ此效果ガ相當現ハレ
ルト思ヒマス、而シテ農務局長ガ昨日

御答致シマシタ率勢米價ニ依リマスレ
バ十八圓二十何錢ガ下値二割ト云フ一
番ドン底ニアルノデアルカラ、ソレヨ
リ以上ニ持ッテ來タイト云フノハ此米
穀法改正ノ率勢米價ノ趣意デアルト御
答シタノデアリマス、併シ私トシテハ
今後今申シマシタ施設ノ實現シタ後ノ
米價ノ推移ヲ相當考ヘマシテ、農林ニ
及ボス影響ノ重大ナルヲ見マスレバ、
米穀委員會ニ諮ッテ更ニ米穀法運用ノ
コトヲ考ヘルコトハ勿論デアリマス
ガ、今此席デ十八萬二十錢ニ行クマデ
ハ必ズ買フト言明スルコトハ、今ノ米
穀界ノ事情カラ見マシテ、斯様ナ的確
ナル數字マデ申上ゲルコトハ差控ヘル
ガ宜シクハアルマイカト、斯様ニ考ヘ

テ居リマス、併シ今ヤリマスル施設ヲ
實現シ盡ス間ノ米價ノ趨勢ヲ見マシ
テ、最早米穀法ヲ出動シナケレバイカ
スト云フ私ニ責任觀念ガ起リマシタ時
ハ、更ニ發動スルコトハ勿論デアリマ
スガ、豫メ此値ニ達センケレバ直グヤ
ルゾト云フコトヲ此處デ申上ゲヌ方ガ
一般ノ爲ニ宜シカラウト思ヒマス

○東郷委員 只今ノ問題ト一寸關聯シ

テ居リマスカラ、序ニ御尋致シマス、此
地主ナリ其他ノ生産者ガ米ヲ販賣致シ
マス、其數量ハ月別デ分ッテ居ル筈デス
ガ、此米穀年度ニ入ッテカラ十一、十二
一月、此三箇月位ノ御調ハ御手許ニア
リマセウカ

○石黒政府委員 ソレハ分ッテ居リマ
セヌ、是ハ確カ五箇年間ノ普通ノ中庸
ノ年ヲ取ッテ、特別ニ調査ヲサセタモノ
デアリマス、毎年報告ヲ取ッタヤウナコ
トニナッテ居リマセヌ

○東郷委員 ナケレバ已ムヲ得マセ
ヌ

ニ於キマシテモ、私ハ責任ヲ以テ言明

シテ置キマス、併シ當局モ農村對策ノ
問題ニ付キマシテハ十分御盡シ下サレ
テ居リマシテ、大臣モ夜按摩ナゾ御取
ラセニナッテ居ルコトモ私知ッテ居ル、
ソレ程御苦心ニナッテ居ルト思フガ、何
等效果ガ現ハレヌデヤアリマセヌカ、
農村救済ト云ヒ、農家ヲ救済サレルト
言フガ、殆ド效果ガ現ハレテ居ナイ、而
モ非常ニ偉イ力ヲ持ッテ居ラレマシテ、
冷淡デ無イ同情ノ有ル農林大臣トシテ
吾々ガ見ル時ニ、何等效果ノ現ハレナ
イ、吾々ヲ救済シテ呉レナイ結果ニ於
テ農林當局ノ存在何處ニ在リヤト呼バ
ナケレバナラヌヤウナ狀態ニ在ルト云
フコトハ、吾々ハ現内閣ノ金融資本主
義ノ大勢ニハ町田農林大臣ノ力ヲ以テ
シテモ、抗スベクモアラズ、殆ド效果ガ
現ハレナイノモ其結果ダラウト思フ、
現ニ私ガ申上ゲナイデモ秋田ノ郷里ニ
歸リマス、民政黨ノ諸君ハ東京ノ方
ニ於ケル米ノ買上ナドニ付キマシテ
モ、ドウモ大臣ハ冷淡デ困ル、冷淡デ困
ルト言ッテ私ノ所ヘ持ッテ來ル、却テコッ
チノ方デ辯解ヲシテヤッテ居ルト云フ
ヤウナ狀態デアアル、所デ幾ラ冷淡デハ
ナイト言ッテモ、大臣ハ偉イ人ダ、力
ノ有ル人ダト思ヘバサウ言ハザルヲ得
ナイ、ナゼヤッテ呉レナイノカト吾々ハ
言ヒタクナル、デ私ガ先程申上ゲマシ

拂ッテ居ル(笑聲)此點ハ如何ナル場合

タ言葉ト云フモノハ、斯様ナ農家ノ悲痛ナ現狀ニ即シタ見地カラ見テ、農家ノ窮狀ハ此處マデ行ッテ居ルト云フコトヲドウシテモ申上ゲナケレバナラヌ、俺ハ是程努メテ居ルノダカラ仕様ガナイト言ッタヤウナコトデハ、吾々ハ困ッテシマフ、随分困難ダ困難ダト云フコトハ何時モ色々ト御話ニナルガ、幾ラ言ッタツテモ、ソレダケデハ駄目デアル、中々困難ダ困ッタト云フ話ヲ話サレルコトハ何時モ承ッテ居ルケレドモ、吾々ハソレヲ承ッテ尋常ノ御話トシテ引下ッテ行ク譯ニハ參ラヌ立場ニ在ル、又其處ニ義務責任ガ在ルト思ッテ居ルカラ申上ゲタノデアル、所デ米價ノ問題デスガ、大體不景氣モ底ヲ衝イタト云フ今日、米價ガ既ニ暴落シテシマッタノニ、此米穀法ハ暴騰暴落ヲ防グト云フ目的デ發動スベキモノデアルナラバ、暴落シテマッテカラ發動シテ、復タ之ヲ逆ニ戻スト云フヤウナコトデアルナラバ、尙ホ恕スベキ點ハアルト思ヒマスルガ、之ヲ引上ゲルコトモ出來ズニヤッタ結果ガ始下效果ガナイ、幾ラカハアルダラウガ、誰ガ見タツテ效果ガアッタハ、恐ラクハ國民全般ハ見ル人ハナイデセウ、當局トシテハ已ムヲ得ナイ、之ヲヤラナカッタモットヒドイト云フケレドモ、是レ以上下リヤウハナイデハナイカ、大體今日ノ井上大藏大臣ノ如

キハ大抵不景氣ハ底ヲ衝イタト御話ニナッテ居ル、又吾々カラ見マスルナラバ、見マスルナラバ、此米價ノ問題ニ付キマシテ、農民ノ此悲痛ナル窮狀ヲ救ハレル農産物ノ價格ノ維持ト云フ問題ニ付キマシテ、農林當局ノ御力タルヤ、洵ニ微々タルモノデアッタコトヲ、結果ノ上ニ於テ吾々ハ感ゼサセラルノデアル、洵ニ此點ハ遺憾デアル、十分御努力ハナサラナイト云フノデヤナイ、何故ニ其絶大ナル權力ヲ持ッタ所ノ政府當局ガ、萬難ヲ排シテ有ユルコトヲ行ッテ、我が農村ノ悲痛ナル狀況ヲ御救ヒ下サルコトヲ、モットヤッテ呉レナイカト云フコトダケハ、ドウシテモ繰返シテ吾々ノ頭ニ殘ル所ノ問題デアル、デアルカラ私ノ大先輩ニ對シテ申上ゲルノハ、甚ダドウモ濟マナカッタヤウナ言葉モ出タヤウナ仕末デ、此點ハ一ツ私ハ町田サンニ對シテ大ニ釋明ヲ申上ゲテ置キマスルガ、同時ニ此米價ト云フ問題ニ付テ、只今申上ゲマシタコトニ付テモ、結局重ネテ御尋スルヤウデアルケレドモ、是位デ宜イノデヤナイカト云フ御考ナドヲ御持チニナルノデヤナイデセウカ、今日ノ一般ノ經濟狀態カラ見テ、是ハ致方ガナイト云フヤウナ御考デ居ルノデハナイデセウカト思ヒマスガ、重ネテ一ツ御尋ヲ申シテ置キタイ

○町田國務大臣 先刻申シマシタ通り、現在施設中ノモノガ澤山アリマス、進行中ノモノハ澤山アル、此施設ガ進ミマス、政府ノ買上ゲテ居ルコト、相竝ンデ、今後ノ米價ニ相當ナル效果アルコト、思ヒマス、併シ片野君ノ憂慮セラル、ガ如ク、今後、左様ナ施設ヲ致シテ居ルニ拘ラズ、米價ガ更ニ暴落スルト云フ大勢ニ參リマスヤウナコトガアレバ、米穀法ノ趣意カラ見マシテモ、私ハ經濟界ノ大體ヲ見マシテ、之ニ責任アル處置ヲ執ルコトハ申スマデモアリマセヌ

○關矢委員 今日ハ此程度ヲ以テ散會セラレンコトヲ望ミマス

「贊成」ト呼フ者アリ

○西村委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午後一時カラ開會スルコトニ致シマス

午後六時二十三分散會

昭和六年二月二十五日印刷

昭和六年二月二十六日發行

衆議院事務局

印圖者 常磐印刷株式會社